現代支那思想を

とし此の様では本月中に解決を見たは、 とし此の様では本月中に解決を見ない。 としたの様では本月中に解決を見ない。 としたの様では本月中に解決を見ない。

小包運順成績 ・ 一包運順成績 ・ 一包運順成績 ・ 一覧を担難せられた全日本農民 ・ 「東京十八日設電」 社民驚への含

大

觀

小

觀

0

し極層の本意は顧問官の背景とこと困難であると称してゐる。

絶滅は不可能な

職業的排日

奥地の雑貨取引は悲觀

研究して見たい

な述べた であるから恰も老人が本願寺館 自分の支那行は何分老前のこと

犬養氏の答辭

博競

名き継、廣東、美口は別 の観察を終えて連続所工課輸出係 が成立すれ間等氏は十五日輸送し 主は任弟子れ間等氏は十五日輸送し まが成立すれ間等氏は十五日輸送し

行政縣、保安會等の强制的解散からなり約十五銭の教順費金を取扱商と 以名し香港等では無順炭・嘱當り約十五銭の教順費金を取扱商と 「運動は全く」 「運動は全く」 「企業させてゐる、元來排日」 「運動は全く」 「企業では無順炭・嘱當」 「企業では無順炭・嘱當」 「企業では無原炭・電當」 「本非日」

0

か

0

戦端が開始の際で排

り開始の発表の

十九日 (晴)

西の風

天

の軋轢が強化して

大の習ひか忘れず、十八日午前なく幸勢からんとを歌師する武徳大の書のからんとを歌師する武徳大学

る施設物道院機関等の幕は悪か トルなってある。かくて明朝ス としなってある。かくて明朝ス

一石炭(1 同地方が支那の大けでは自輸出来以ため脈迫を表い方で、一般日本の推貨額の大けでは自輸出来以ため脈迫

を握て大連瞬に離伍を整へ大震の

河南進撃の手筈確定

いたが右は魔

中首相は左の加き挟

蔣氏徐州

南路した

移動京軍

部幕僚、軍官學校卒業生の精鋭八 表に依れば蔣介石氏は今夜總司会 表に依れば蔣介石氏は今夜總司会 「一

備し河南進撃の手管を確定した上
ける馮玉祥軍の配置現狀は左の通に乗込み、津浦線上の南京軍を駆「北平十七日歿電」河南省内に於に乗込み、津浦線上の南京軍を駆「北平十七日歿電」河南省内に於

戰況

馮軍配備

河南省内の

見られてゐるが事實は推論

迎へ一旦南京に贈る豫定であ 隴海岬方面 開封開封一帶孫良蔵六日北平張の孫文の霊術を徐りである

中に馮討伐令を出す模様である

一路總指揮官決る

蔣氏以下の軍事會議

徳司令部は使に氏めき軍部襲人の往來頻繁を極めてゐるが蔣介石氏は便に豫定を毕め七日發電』馮玉祥氏等十八名の連名で蔣介石討伐の通電を酸したとの楊宮地に整した

馮討伐

下を出さん

部緊張

一豫定を早め

馮氏からの

電



荻川 放談[®]

病海豚牧の

所は成ひに情勢を自己へ有利な に除りに観氣と云はざるを得ぬ は除りに観氣と云はざるを得ぬ に耐者の策略が解み、

らしめんとする爲めで、富

したと云ふが、

と言はる、遺は新介石が自己に有る幽軍の京美線破壊は隧道を爆破。 と言はる、遺は新介石が自己に有る幽軍の京美線破壊は隧道を爆破。 と言はる、遺は新介石が自己に有る幽軍の京美線破壊は隧道を爆破。 と言はる、遺は新介石が自己に有る幽軍の京美線破壊は隧道をを加く場響で放車の運転あり、たが南京軍は武漢を随く守ることれー旦制役令が出れば政勢に尊ず、緩縮上には貨車十一に對し猛撃を加へ相當進出して來。告せんとする戦内的の策略と見ら、貨車十三級、総総上には貨車十一たが南京軍は武漢を強く守ることれー旦制役令が出れば政勢に尊ず、緩縮とも破壊し隧道内には一般に変攻撃を採り南京軍の偵察職。利なる口質を作りたる後宣範を布。せる外機器とも破壊し隧道内には一般になり、大変に対して、対域を指する場所を担よる。 おばならぬとあつては、革命の が、其勝敗に難ら派を打算せ め版民政府の解自席とあらうも とのが、其勝敗に難ら派を打算せ では、其勝敗に難ら派を打算せ

國交のために喜ぶ

故孫文移枢祭参列送別會で

田中首相の挨拶

政府側の 表決權 意嚮

執拗なる樞府の態度 最も結束の整固な沙河口工場から

は七名を出馬せしめるの意識込と ▲ は七名を出馬せしめるの意識込と ▲ して超過は相當の數に上るべく今 ▲ 後に白熱戦の展開を豫想される

▲澤村築美氏(大阪赤十字病院 副院長)十八日入港はるびん ▲野中義一氏 (関東車經理部技師) 同上 剛氏(關東軍高級副官)同 同上

農民の提議

社民拒絕

合同出來ないと

▲關東廳管內會吏員內地觀察團 中三名 同上 一名 同上

任旅順工科大學像科教授(五等 事

一个《東京十八日被電》 公立大學豫科教授

露天撮といふものはかくも大規模のものとは思はなかつた。かくの如き大仕掛にやつてゐる處は世界何處の國にもないであら、全く驚嘆の外はない、しかも之を日本人の手で完成したことは最も意を强うする次第である、又オイルセール工場も大したものでその他發電所、病院等文化の力を悉く應用ししかも組動に整然としてゐることは全く邦人の誇りである

述大の影響を度です。 を対すると否とは戦争。 を対すると否とは戦争。 を対すると否とは戦争。 ありでなく、李白に観で起つ叛だ 「関の討伐は、李白を頻除するば なっまだく、であるまいか、氏 をは、李白を頻除するば なった状ると、温衣式を なった状ると、温衣式を なった状ると、温衣式を

露天掘 木下長官驚く 0 規模に

撫順を盛んに賞め ける出發、安東へ

の千十二筒を除き通陽検査など、が其内内地境地強陽の指定。百二十七重便執は總數四千倍で「を行った」 一筒で通脳数の六分七厘で

等々々さても職やかなこと。 ると民衆こそ好い面の皮である。いつまでも軍機の私闘に親ひさ 福府いよく 特長する 増長させ 銃砲劇は脱氣さましにお謎へ向き 氣候はよし、生命に別條のない 後一時五分 其為他 一手販賣元十 しめ其病症を瀕火硬快治症せしむ。 しめ其病症を瀕火硬快治症せしむ。 しめ其病症を瀕火硬快治症せしむ。 他先生、同澄川線先生、同月間道保 佐先生、同澄川線先生、同月間道保 使果葉局方に撰ばれて其の使用の榮 整軍葉局方に撰ばれて其の使用の榮 整軍業局方に撰ばれて其の使用の榮 整理、自己、 を得又は全國官公私立大病院の常願 を得又は全國官公私立大病院の常願 を得又は全國官公私立大病院の常願 を得て、同方間道保 東時報告集は御申込により即刻郵 粉末錠蜘共に各地著名薬店にて取 友田合資會社 友田合資會社





って来た、彼の讃美者である。

月がまた、
「大学」
「大学」

東本本のあるとはであり、 であるとはであり、 を関子でいる「女房ですか、あり、 が記するのた。 を関子でいる「女房ですか、あいつは時年の九月に戦船の配島 れで来ました。私はナボリまで ないった行つて今はニースで秋の かはした。私はナボリまで ないった。 がいったがない。 ないった。 がいったが、 がいが、 がい

カれ等のテナー 藤原義江氏がかって来た、いつも大連で 関際的で大連で 関際的

驚異·嫉妬·羨望

ロボのやらに「妻は日本新人に さラノに来ました」そして彼は きラノに来ました」そして彼は

が、変がないというではワーナーのトーキーに出演することを変形された

たい ウェスト」で出演料がきまれば渡米するらしい。

限る」と断言してゐる

愛人をニースに残して歸朝

近く大連で獨唱會を開催

藤原義江

氏を廻る

非常に憂慮されてゐる

「何處も此處も吹動しました、 質際御國が暫地と云ふのでせう 御大興跡の崇്さ、木曾川森林 の壯大さ、水力電氣の發達、側 國の人達が皇室に對する何時迄 を變らぬ忠誠ぶり、殊に農業の を變られ忠誠ぶり、殊に農業の 私達の一番肥えた土地が御機の 一番悪い土地に劣つてゐること

を できないよく / 明十九日 できる (1) できない よく / 明十九日 できない よく / 明十九日 できない またが (1) できない またが (1) できない またが (1) できない またがら (1) できない れるが本年初めての催しであるのれるが本年初めての催しであるの 等差競技 愈よあす舉行 非常に参考になるものを見せてメントストーア、別府の温泉等メントストーア、別府の温泉等 には古い唐時代の彫刻があつたを張見しました、日光の陽明門 他の職工を牽縁してゐる。この龍工が延長すれば各部の業務連絡が失はれ再び全職工の能業とかった結果、またく、同盟職業を全て十七日午後三時一局工場をより目下外部にあって瀕りに参らざっため鑑賞されたのを憤慨し監察劉某の更迭方を會社に要求したが會社側が之に應じな常に問題を起してゐる答呼の東亞煙草工場職工の内兩切豫備工三百七十三名は十六日の仕事が常に問題を起してゐる答呼の東亞煙草工場職工の内兩切豫備工三百七十三名は十六日の仕事が常に問題を起してゐる答呼の東亞煙草工場職工の内兩切豫備工三百七十三名は十六日の仕事が なるやも知れずとして

物凄き緊張裡に 早慶戦始る

京玉·清山·小松 濱崎·漆洁。低津 於田 永等·南城·花滿 吉野 長澤 宗正·木原·芥田 綠川·二神·井上

ロン郊外飛行場に無事下降、乗客ることは危險で船體は破損するもとによる。 「ベルリン十七日發電」ツェッベ全部下船した、ツェ伯號のモ」つては、大笑のベーガルドの上空に在り飛二個は船首に在るものであるが、一般と行に困難を感じてみたが、同地の新に故障を生じつ」ある一個は船。どのたと行に困難を感じてみたが、同地の新に故障を生じつ」ある一個は船。どのたとれを聴念して弱変し佛殿政府のンスに不時清壁の已むなきに至るのは野可を得て午後八時五十五分ツーやも知れぬ、併しフランスに下りで設定した。

りの計画が實現されるかどうかさへるの計画が實現でありし世界一周飛行の像定なりし世界一周飛行の間でありません。

も疑はしくなつた

日本海戰記念

建設費醵金

海賊に乘船を占領され

ケ月引き廻さる

やつミ支那艦に救はれた諸威の

女宣教師けふ來連

實

+

B

九

日 「東京神歌十八日發」 会参のリーと、本部大戦した簡単の活動が期待されてゐる 歌の合計十五萬歌を開始した、歴史ある早煕歌で あり飛に早大は近守選所の影響に 大阪赤十字部院 野宮 から横く時めかけ午前五時には 大阪赤十字部院 野宮 がりがたされてゐる 歌の合計十五萬歌を開始した、歴史ある早煕歌で 本神のとで、歴史ある早煕歌で 大阪赤十字部院歌が期待されてゐる 歌の合計十五萬歌を出上し密財金 中から横く時めかけ午前五時には 大阪赤十字部院歌が期待されてゐる 歌の合計十五萬歌を出上し密財金 スタンドを埋め張して感動・一定は は十八日で歌のはるびん丸にて來、學生は一銭を限度とされてゐると なつてゐた天津社会のノールウェスタンドを埋め張して感動・一定は は十八日で歌のはるびん丸にて來、學生は一銭を限度とされてゐると なつてゐた天津社会のノールウェスタンドを埋め張して感動・一定は は十八日で歌のはるびん丸にて來、學生は一銭を限度とされてゐると なつてゐた天津社会のノールウェスタンドを埋め張して感動・一定は は十八日で歌のはるびん丸にて來、學生は一銭を限度とされてゐると なつてゐた天津社会のノールウェスタンドを埋め張して感動・一覧で、「一覧」 は 1 日本海歌の記念様と 1 日本海歌の 1 日本海歌

つと支那軍艦に敷助され十八日入一の宣教師モンセン夫人(一)はや

論身の廻りの品を一つ残らず掠 全部を一室に監禁し所持金は勿 廿餘名 が雨脚に隠匿し

た同志に渡しその後一同を監禁郷し、これを戒克で受験りに来

れて北平號はそのまゝ捨てゝは脅威を感じ二十名の人質を

營口東亞煙草の

兩切豫備工

仕事の捗らぬを譴責されて

きのふ全部が退場

搜查願 一春ながら ひが頻

して捜査方を願はれた者。 四三宮本八歳子かたに立廻つて グルコッとしたら大連者狭町二 がにヨッとしたら大連者狭町二 がにヨッとしたら大連者狭町二 がにヨッとしたら大連者狭町二人一木要助の寒長崎市銀屋町二八一木要助の寒 経育の樂園園ジークフリード
断つた、いき契約してゐるの (四三)夫婦は青島に於て浜藤郎(四三)夫婦は青島に於て浜藤のま行方不明になつた、大連にあるらしいからと十八日山縣通りるらしいからと十八日山縣通り 押へて臭れと夫から大連署へるるかもしれないから身柄を雇

講習支所林幸吉から透々の顧出杏や取調べて吳れと鹿兒鳥灑店 かたに止宿してゐる事實なきや市聖德肯一丁目一二一岩淵三夫市聖德肯一丁目一二一岩淵三夫職の民島縣底兒島郡中郡宇村平田 問題兄島縣底兒島郡中郡宇村平田 問題兄島縣底兒島郡中郡宇村平田 問題兄島縣底兒島郡中郡宇村平田 問題兄島縣底兄島郡中郡宇村平田 問題 瓦斯實演會盛況

開催課で

日曜の催し 4

驛傳籍 争の

(=)

兩軍主將、

本社に参集

世界

周飛行の

實現も疑は

0

Z伯號の發動機故障

遂にツーロンに無事着陸す

のと見られてゐる、かくツエ俊素

で開き最近の作品を

高田氏洋諸展

で入渕せる

0

締領となつて居りますが、その経験のでは、日十五世界の教師が、とのでは、日本のではは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、

一田

新聞社会に保管するとすれば教験用紙に同處に保管します 名を以て正確に近い時間を混りの人が他人 社の催しに社員が投票することは種々の點からよくないととは種々の點からよくないと さつても社員は投票出来ない ことになつて居ります、投票 ことになって居ります、投票 ことになって居ります。と

の可否(二)出酸け必ず大連瞬 **放票するこ** 極が、しかし 株に旅順から大連に自助車を活 ・ 1.5 を ・ 1.6 を ・ 1.5 を ・ 1 三)大虎山の酸青時間が出解目のなせているのでせらかへ

車 より「キリストの神」白井牧師午ら 後七時半「勝利の秘訣」吉武牧師 ・ 温泉にて家族舎開催 ・ 温泉にて家族舎開催

一大橋本教授の指導に質が前れ時より常安

◆・・・・支那の版献には少くも三百元から多さは二、三千元といよ元から多さは二、三千元といよる(人道学を要し一生類分で暮らもの一部下にあつてはよろしくこので一下にあつてはよろしくこので一下にあつてはよろしくこので一下にあつてはよろしくこので一下にあってはよろしくこので一下にあってはよろしくこのでで、出版学を要る場合とは百元以上のの治下にある場合となる場合は三百元以上のの治では、一世の表表には百元以上のの治では、一世の表表には百元以上のの治では、一世の表表には、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表表を表示して、一世の表示を表示して、一世の表表を表示という。

0

智員 智員 南船 北馬

覆·天幕用

目丁三通町田本區西市阪大

株式名義書換停止公告 「アノ日迄株式名義書換ヲ於止ス 所和四年五月十八日 「大連取引所銭鈔信託株式會社 常社定数第十四條三俟リ昭和四年六月一日ヨリ定時株主總會経 大連取引所銭。

御買物の御撰擇を願ひます、流の特製品揃ひに漸く確定せる本年の色調流行品の豐富に山積せる専門店にで流の特製品揃ひに漸く確定せる本年の色調流行品の豐富に山積せる専門店にで青葉の頃銘仙萬能時代です柄に組織に從來の御召又は明石上布等を凌駕せる一 ◆……哈爾賓の支那雜貨商司と 電は最近強行の指数。 1 ウインドに では最近強行の指数。 1 ウインドに であるが、北瀬で試みられた。 最初のマネキンガールなので、 最初のマネキンガールなので、 その頻照に見憶れて窓の前は黒 のあるが、北瀬で試みられた。 その頻照に見憶れて窓の前は黒 ○ になった 『哈爾賓愛』
されつ」もある率天名地一根島町ではなるところから監督が使いなるところから監督が使り質さなるところから監督が使り質せと命じても神罰を恐れ絶野に手をつけず、随つて工事に一種挫を来し漸緩も困ってゐる 大いに獨身者の救済を計ることれに違反するものは敵師に属し 綿 师凡 優品良質 米穀 高 ◇ 志摩洋 仕立加工·染色加工 白 天幕、各種濫用 太喜、日除用染色防水綿布 同晒、染色雲才地 **獲過用厚、薄織綾布 帆用晒、染色帆布 後用晒、染色帆布** フトン袋用染色帆布 志摩洋行 電話(四三四九番 商

露西亞町コートに於て擧行 愈よ明十九日午前九時より 會

▲生田流筆曲大演奏會 催

午前十時

五月二十日

正 十圓より十八四 同 大島式 珍緋 抽變り 機種 本 五圓半より八圓半 同 日 上布 三反 十二圓より十八四 日 上布 三反 十二圓より十八四 日 伊勢崎稲 三反 十五圓より二十圓

直壽

産地

大連市

た内地と大連を往復して変より 金を絞る事ばかり考へてゐます 会を絞る事ばかり考へてゐます 会が殖へる一方であるに年はと つて行きます、身體は弱つて來 ました、ツレやこれやを思ふと ました、ツレやこれやを思って來 ました、ツレやこれやを思って來 ました、ツレやこれやを思って來 ました、ツレやこれやを思って來 ました、ツレやこれやを思って來 ました、別との題の手 より一番牙より遅れたい計りに アライ、家出しました、最初は 死ぬ心算でありましたが、死ぬ の手 といい。 新柄銘仙一反八里

の健康学させて下さいと云ふので借金は何とかして返済するからこ

回鉄の

02

至五月二十二日

のは毎日難費し宣傳の効果は甚大の大支那人知名士の念觀者も多く、一般出南諸瓦斯會社の瓦斯實演會には支

の判決言渡

000

價之 品質は三井のモットーに

見切品 山の如し

88

の市

世間であるが経過であるが経過であるが経過であるが経過であるが現場であるが現場であるが現場であるが現場がであるが現場がであるが現場がであるが経過が不知過であるが経過が不知過では現場を受けた所謂金倉が不知過が現場がある。

ら端保合を降へ留吉(場保合) 重地管制

正に證券界は弱氣時代の

連

温量

dy

(..

(三)

ねばなるまい。

古節十年の永き

未だ惠れぬ戦士達

大阪 では十二年の九千人を いては十二年の九千人を いては十二年の九千人を では、では十二年の九千人を

產業助成金

はれ

北満地方を視察

大連輸入組合が組織する

行來る廿四日出發

建黄 等形交換高(十八日) 手形交換高(十八日)

○下馬神の人 場(低落)今朝の海外材 ステータ 大学の一安 大学の一安

○寄 11巻付 公大 11苦引

遊信後 の部

村相場(計八年) 夏向新着 洋服の生命は

株式名義書後ラ停止ス 名義書後ラ停止ス 株式會社

舊株、一新株、二新株 公債社債株式賣買

会計金五萬七千巻百四名6月1 古利谷金ヲ盧分スルコト左ノ如シー金祭千圓也 法定積立金 一金祭千圓也 別途積立金 一金祭鳳囲也 別途積立金 一金祭鳳囲也 保主配當金 (一株二付金舎拾銭) 一金四千五百九拾圓四拾貳銭也 後期繰越金 東亞金紫株式會社

千拾六圓式拾七錢也 百式拾四圓拾五號也 前期樂越金 萬七千零百四拾圓四拾

別寄別寄引寄 計物期 二滿 新 引寄引寄 交景 大

毛皮鞣、染、色 大連北層子三 大連北層子三

出商店樣部

土郊 飾 大地外 新 新

東京で 明保合 東京で 明保合 東京で 明保合 東京で 明保合 で 八月三十七郎 で く見送つた 変粉(出來不中) 五銭七厘賣唱へであつた二厘、六、七月三十九銭、九、十、十一月三十七銭、九、十、十一月三十七銭、九、十、十一月三十七銭、カ、十、十一月三十七銭、カ、十、十一月三十七銭、田、五十七十十十十十十十十十十十十十

古株一湾安 今朝内地主力株の低落を眺めて當市の五品新豆は四五十銭安と低落した氷新先 一貫一二十銭安と低落した氷新先 物は六十銭安満銭二新は三十銭安 物は六十銭安満銭二新は三十銭安 現物の大新は五六十銭安新東は一 現物五百四十枚

大四三〇

H 品

▲島豆(蘇家屯)五、三〇本島豆(蘇子)七、七〇(三番河)七、十〇(三番河)七、十〇(三番河)七、十〇(三番河)七、十〇(三番河)七、十〇(三番河)七、十〇(三番河)七、十〇(三番河)七、十〇(三番河)七、十〇(三十七日)

引值值付上

金

三六九兩八三六九兩八三六九兩九

(で) 全向地 (で) と兩合 (で) と兩合 (で) と兩合 | 一志||〇片へ分|| | 一志||〇片へ分|| | 一志||〇片へ分|| | 一志||〇片へ分||

シックリトシタ 英國型

大連取引所信託性

市中より一割五分安

17500

前 元 元 元 元 元 元 引

大阪綿糸 一月月月前場密節場引 一月月月前場密節場引 一月月月前場密節場引 一月月月前30 日間100 日月100 日間100 日1120 日1120 日1120 日1120 日1120 日1120 東京期米

H

株式の御取りは山

「おとお前もか!」 「この歌は、どうしたことで?」 がこの歌は、どうしたことで?」が からだしが

緊塞界の一

大管具

實價具

十三円

說明書進呈

(四)

ない。 ないでは、 ない 死彈の中を 金 山

見でする。 大下 N 社都特性品コリーン、ムー 大下 N 社都特性品コリーン、ムー 大東 大連に上映されることに 大連に上映されることに 大連に上映されることに 大型サニ目から演雑館にてはマキ 大学作学では関南を見る。 ・一様で 財団されることに 大連に上映されることに 大連に上映されることに 大連に上映されることに 大連に上映されることに 大きで、東るサードで後七時から がなる。 大連に上映されることに 大きなの。 大道に、上映されることに 大きなの。 大道に、大きな の種様十単、 大きない。 大きなない。 大きななな 大きなな 大きなな 大きなな 大き

ラ 1 愈よ上映さる ラ ツ

富太

(242)

屋 (竹木住屋 (竹木住

贵

由

罢西中 嬢の最初のお 膜の最初の超 ・で知られた

そこに門人がヨロ

と出てく

「お」、お前も出てきたか!」

日 九 Ξ で ま

サケー 夏の子供洋服中小學生展社立が念するの生地も十分に特選しての生地も十分に特選している。 汗服陳列 念入である上に で最軽快な品々 ます夏の小供服

單帯を澤山取揃へ御高際清々しい夏の御召料と! 今夏流行の

東京中形の流行を代表して居ります。清凉映盗るゝ氣の利いた新柄揃ひで、 中形浴衣地陳列 北新柄揃ひで、

運代時間 獄地 0

雅り上つて喜んだ成三、 行けツー」

かぎり地面に降る弾が、四方に土がり地では、と共に前線へ走りだした。 見渡す かぎり地面に降るごとくに、見渡す かいかがり 地面に降る弾が、四方に土

たららの

だ。見ろ! 敵はまた進んできた

さん! ちツと射つてみても好い

中つて強わかへつた。

たので、お互ひに、まだ生命が、

「お邸へお供いたしませう」

てゐたのだし

十四日より上映 國際

な全

直タク坊ちゃ ■ 龍田 静被主演 番組 ◆ 二日より公開

林台

電話四九二七個

3

W

式

久米譚、高瀬 英 賞 賞

一春雄、劉島ルイ 良子、村田宏壽

して御座います

ディックスのト特作

賣直產製量大

鄉久選主演

人學 の 新舊合同總出演 ノ獲領上現代劇 ーグル 閣

頭痛にノ

黑 内

リラの花、乙女の

愈近日封切こ決定

は、 ・ また。 ・ は、 、 ま、 、 は、 良くフケを除去しカユモを止め確實に脱毛を防止し心身を爽快 然洲殼質元 **並大•阪大 店餐代總洋東**

美 髮 0 保

毛髪の衛生さ 存

エフ・テッナー氏創製

◆寄生物の侵入を防き表皮細胞を保護し強関にし思うの時間殺菌をなし、完美の器育を良くし光源を増する時間を指する。 獨逸製毛生劑の眞價

- 氏が特にムアー様についたもので相手役は「ついたもので相手役は「ついたが撮影巖本をつく

家庭療器

神院高の版は欧洲町 後を背景にした。 ・ 「神学」で、 「神学」で、

を

スク止る かりみも

-

美顏術—御婚禮御着附貸衣裳

愛知美容館 語袖及附屬品

側部町三丁目(天金街) 大木

大連市 庙中靴靶 浪速的武 電七

穿あらん事を

方に御滿足を與つねば ますれば是非一 止まぬ意氣込みであ

の出ぬ白靴必ずや皆様 かも洗つて絶對にし

努力不斷の 工場員一同 て研 0

堅牢無比、價格低 兼ねての皆樣方の

熱心、 店員、 求に應ずる爲め店主



及ばん

) 登のに表り別に一政府を指てんとしてゐる 順入し糧食を貯へて西北の地に嫌り中央反逆を金てつゝありの全女を翻表した 央に反逆するは世兄の身を減し頭を紊るものである、遠かに入京して勝言

201 第介石は十六日間を以て馮玉祥に勢し大要左の奴き長文の電報を設しその

張學良丑

北平行中止

氏は六月一日の統文の参照祭後馮氏より喧嘩を買られたものとして積極的態度に出づる

『本天特電十八日報』 第代電池 いって 張野良氏の北平に 対くことは 中間 の で 張野良氏の北平行きはとり で 張野良氏の北平行きはとり で 張野良氏の北平行きはとり

『北平十八日登電』武漢より北上を開始した劉時軍は昨日武勝闕を占領し馮軍の破滅した隧道と外であると、一方河北省境影像の馮軍も鄭州方面に集結され京漢線南北域とも極度による名為めであると、一方河北省境影像の馮軍も鄭州方面に集結され京漢線南北域とも極度による名為めであると、一方河北省境影像の馮軍も鄭州方面に集結され京漢線南北域とも極度に北平十八日登電』武漢より北上を開始した劉時軍は昨日武勝闕を占領し馮軍の破滅した隧道 鄭州方面に集結

部青島出發

第五旅團司令

し蘇州北部黄河の大銀橋を破壊せんとしたが鐵橋を守る伊太利技師に依り阻止された。京平十八日發電」京漢線の馮玉祥軍は北は影響より雨は信陽に亘り何れる鐵橋を破壊しつよ を爆破

諾支南京事件

賠償支拂で解決

機械の交通恢復は當分困難とされてるる 奉天軍

氣の毒なほど る、遺は東北四省に青率すべき自返電し来つたの概範に全く脱りして居り「北伐」を計画の各級に指、来た張敏良氏としては一大関盟な 落材いて居ない、文育介石氏は近常でも動の上 日率天で重要會議を開催すること 其の成行を心配してるる様は見るの面にも出動の上 日率天で重要會議を開催すること 其の成行を心配してるる様は見るの面にも出動の上 日率天で重要會議を開催すること 其の成行を心配してるる様は見るの面にも出動の上 日率天で重要會議を開催すること 其の成行を心配してるる様は見るの面にも出動の上 日率天で重要會議を開催すること 其の成行を心配してるる様は見るの面にも出動の上 日本天で重要會議を開催すること 其の成行を心配してるる様は見るの面にも出動の上 日本天で重要會議を開催すること 其の成行を心配してある様は見るので、遺れると、大関語を対象していていて、大関語を対象していていて、大関語を対象していていて、大関語に全ていていて、大関語になる。

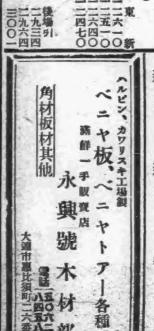
蔣氏は亢奮

ではれば、海玉群氏との関係節りは殆ど病者の如く膝話中でも突に面合した某有力支那人養業家のは非常に不機能で其の神經過數据に面合した某有力支那人養業家のは非常に不機能で其の神經過數据に重要した。 最近著 かっぱん 絶が明白となって以来の 素が着し 最近面會した人の話 た」と云つてゐると 兩蒙驛傳競爭選手

紅白兩班とも必勝の意氣込み

ー分發の急行で

八連驛出發



満蒙鐵道驛傳競爭を前にして

ではもつと進んでゐることは勿 品南流せん

这も達しやうとしてゐる。 計量としては、克山鐵 飛鳥鐵道の幹部が繋撃してある でのクロスが問題となつてあた 変のクロスが問題となつてあた 変のクロスが問題となつてあた 変のクロスが問題となつてあた 変のクロスが問題となってあた と交渉せしめたのが 東支側

は吉林省常局であつて最初のこの鐵道を企画したのは現在

さつ よるが、この正月迄に に克山織方所に向つて工事を 四の

> シャ館としてこのクロ 跳を得たので の時報

不不不一不不二二二三後 六 八 四 六四四人七引 申申申〇申申〇〇〇〇〇 特關(有教眞寫動活)校本 新フ 六月一日 ●施設は滿洲第一 ● 本業生成績は斯界第一 ● 免款得る迄實 新學期開始 オ 新 | エセツクス等 エセツ 大連市北大山通十四

とつ て東支管 蜥に通知 書を澄

では、北へ、北へと伸びる新館などを は、前途はたべ、北へと伸びる新館などを は、前途は形ながれた鉄道と形るのは は、前途甚が踏みがれた鉄道こそ は、前途甚が踏みがれた鉄道こそ

から見ると―― おりまづこのヒンターランドの種々なのヒンターランドの種々

して、快いものではない、このクロスが出来れば、からの安達方面に出る豆類なで下り、耐して更に四角、へ下り、耐して更に四角、へ下り、耐いのくことが除り間、

學ぶには良校を撰べ

租譲案方針は

車天津に向った採料氏は

内閣は敗造でな 田中首相の車中談

十八年十後三時や新橋を売車にて「麝澤神賀十八日を」田中首相は 定であるが、車中左の如 政治的の間 本案は何 「拓殖省官目制問題」省名 同日清野領事は交渉署長を訪ひ種
「拓殖省官目制問題」省名 同日清野領事は交渉署長を訪ひ種
「拓殖省官目制問題」省名 同日清野領事は交渉署長を訪ひ種 はないと言つている、私際し且つ解禁即行など唱へないた所では三土君はこれを

「拓殖省官制問題 省名

不戰條約御諮詢

相當に永引から 關係各國は商議せず 行幸前には困難 手續は廿八日迄に執る

臨時法院問題は

大連長春間の 來る七月十五日から

二六四二六七五五六七五五八十二五二七五五

日取 玉って 一信 ずるが念に は答々職まされてゐる に従って に従って 「の乱者の財野なる作戦、鬱な興味を以て趣へ競弾して選手。 に従って 「の乱るをの財野なる作戦、鬱な興味を以て趣へ競弾して選手。 支那側から逆捻 の落流者

咒(做科婿)陽利重(技研)是安正埠頭,用麥又雄(社會課)黑柳一潭送菜)和田芳次(工場)仙波湾

管浄理である。

これは

正斯後等(銀頭)

産

田中首相參內

公太堡事件善後問題

利(滿蒙貧)立川州吉(地質)針尾麼大(電氣,多門登(記者)森田拓志(運送菜)山崎藤则(工場)持賴清太郎(青果賣社)等原千春(說清大郎(青果賣社)等原千春(記述)人保田慶次(工場)人保田慶次(工場)人保田慶次(工場)持賴不住(用度)石井勝美(地區)衫浦平作(用度)石井勝美(地區)衫浦平作(用度)石井勝美(地區)衫浦平作(用度)石井勝美(地區)衫浦平作(用度)石井勝美(地區)於浦平作(用度)石井勝美(地區)於浦平(工場)於河南大(國際)中野醇(地區)於河南於河南縣(地區)於河南縣(北海)於河南海(北海)於河南南(北海)於河南(北海)

松岡副社長

首相と懇談

保つ事が出來るかとうしたら健康を

弱

次の時代へのつながりも出來得

弊風が各地方共最も逃だしい。最民を軽侮する官僚主義の

【哈爾賓】東北電政監督務就氏は 通信權回收策 の餘威により現地位を顧ち得た四省に於ても同様だ。殊に父祖張學良氏の指揮下に在る東北

告は左の蛭・である というエート機関の事務政帯の問題は関係者は勿論一般社會人の 関にも今や離れ知らぬ者なき事 質となつた、勞典監督省で各地 方に亘りソウエート機関を試験 方に亘りソウエート機関を試験 方に亘りソウエート機関を活動を 方に亘りソウエート機関を 方に亘りソウエート機関を 方に三りて、 一、納税、制度土地関拓事業が下地

次は理事會を開き支援が関係を開き支援を関いる。

、東鐵管理局長の極限縮少問題

二、東支會計の共同管理

、電機問題

東支鐵道從業員

東京にて多年實驗を積みたる手腕家理要師を今回教名名手腕家理要師を今回教名招聘し御客標を付の御希望とに從ひまして御指命下されに從ひまして御指命下された。一個人に勉めさせます。

をは、 をは、 をは、 をになってるるが、表話されるに特別、市政等値所が、新設されるに特別、市政等値所が、新設されるに、 をになってるるが、表話されるとになってるるが、表話される。 をになってるるが、表話される。 をは、生きでは、といなった。 をは、とき、といなった。 を選択している。 を認定している。 をなる。 をな。 をなる。 をな

療治御好みの方は

東小秀東局

電話四六九二番

またもや大淘汰

生

六月一日迄に三百名

然るに彼れの最近の行賊には かなりの遺憾がある。即ち自己 の保身に急なるの餘り省民ある を忘れて南方に媚び、よしなき 職を繰り返しては無辜の民を様 火の巷に願り、軍費に窮して貨 幣を濫波し、東北財政の根幹を 指るがす等、种政百出、墓穴胸

フラジル

は此等の説域が何れも曾遊の地 である為に、見るもの聞くもの地 である為に、見るもの聞くもの地 である為に、見るもの聞くもの地 である為に、見るもの聞くもの地

南征雜錄 波勝 (22) れるが、今は野人の所有面積三 は、各種の遊話に依つて想像さ は、各種の遊話に依つて想像さ

四月中の穀物指数は左の通り政府が建設最中の首都南京の (指數三月末現在物價一〇

時リベロン・ドス・パツドスを が住んで居た話をして以に好奇が住んで居た話をして以に好奇がな起させた、然るに今ではこ の違に名物の織脈の影さへ絵り

に遠べなければならなかつた、 関係的三十分許りの間にも私は が要像を出来で居る、氏との倉庫 ができない。 がである。氏との倉庫 ができない。 ができなかった。 ではなく返の際に込み上るのをできる。 に遠べなければならなかった。

日果養東支督館を理事會に訪問し で見えた、先年訪問した時は合選技 類の法事中であつたが、今度も 理会な 類の法事中であったが、今度も 理会な の地に 建設途上 0

南京の物質調

步兵中隊組織

品親切本位買受 貸衣

まつや

龣

健陽發虚製病

貸衣 古美一 お道具高價 古道具高價 電子機能

東京官學校出身 藤永綾溪治族所 治 療 法

大猫 人院随着 人民随着 人名英西尔比亚西南 人民随着 洋服仕立事門は対地を御持ちになれば丁寧に安く仕立ます尚教授 下さい 傳家 お

を記する またがか を記する という という ままま できまる はった を かん こう いん こう かん こう いん こん こう いん こう こう いん こう こう 科器尿淡毒梅康皮 御用は電 四四四

九



大連市西疆七六數內正路

大連大道工匠銀行前大連大道工匠銀行前

商原 二八町漂信市連大 出の三三三話電

4999

諸貨物運搬 日の出版タクシー 専門のヤナギヤへ大連市浸速町五丁目二一一機速町二丁目商品館内 居せれ五三番 **皮膚病**

野中醫院 大連市 性病。蘇門下疳 電話六四四一番

腐らぬ野菜は手に入らぬ

勞農食糧問題で腐心

蔣馮の確執

滿 洲 H

報

乏に

と學夏氏

ラデオ露語講座

ВОСЬМОЙ УРОКЪ. 第八課

多ない を取り除かればな

新取締法令裁可

信仰以外の活動を嚴禁

支那官憲

對鮮人施設

金融機關設立

中野町八九 電子 大連牛乳株式會社 電話四五三七番

馬賊討伐電命

實即

吉野ム

印の御命は

町二六一萬紫電七八五九

隆田 大連市但以明 大連市但以明

に活動すべからざること ・宗教輿體の委員會は該法の選供 ・宗教輿體の委員會は該法の選供 ・宗教輿體の委員會は該法の選供

支那側から提出

勞農側は本國に請訓

鶴見

大連市信濃町市場正門前 光 公 司

東支鐵道理事會開催

團體に限り激職は關係團體以外

では、 一種の金融機関を 「一種の金融機関を 「一種の金融機関を 「一種の金融機関を

速成教授費夜

中乳 パタークリーム 満洲牧場 電六一三四 満洲牧場 電六一三四

薬及治療

瑚と紫檀細工は

(я была) дома. (女性) 回收に関し種々打ち合す處があ時間に亘つて北端における通信

ガーミシンは常盤橋

Скажите пожалуїста, были ли

私ハ忙かシイ

昨晚貴方ハ家ニ居ラレマシ タカ何タン教へテ下サイ

満 信用

日案内

信用業

美濃町七九 大谷商店 第一条 第一条 第一条 第一条 第一条 一型 大谷商店

日放の場所の場所の場所の場所の場所の場所の場所の場所の場所の場合です。

| 「大型 | と編纂は美風堂へ | 世勢町電六人四六五四 | 上端除諸人夫は | 上端除諸人夫は | 上端除諸人夫は | 上端を諸所 | 上端を | 上述を | 常盤横河島ミシン店電六六八四 か参町野田看板店電四五六四 シと著音器は

平別九時より夜八時迄 電話 三九七一番 院主 早川 高志 大連市常鎮橋舊院 高志

カメラと

では、一般の

ホネッギ

本社奉天支社共催で

を熟任せしめてゐる、既に中學校 下を熟任せしめてゐる、既に中學校 下

に 張宗昌氏の募兵に應じ鑑道画にる 腰所見學の上行。た白光輝を中に赤和恵者が離生したので十五時四十一名に難し嫌康 中谷内務部学院の十六階の子後十三分灣列志師や大雅音を行ひ十六郎の子後十三分灣列志師や大雅音を行ひ十六郎の子後十三分灣列志師や大雅音を行ひ十六郎の子後十三分灣列志師や大雅音を行び十六郎の子後十三分灣列志師を持ちばいる。 「他所見事の上午後奉天に出致した。」

「中国の上午後奉天に出致したと」

「中国の上午後奉天に出致したと」

「中国の上午後奉天に出致した。」

「中国の上午後本天に出致した。」

「中国の上午後本、「中国の上午後、「中国の上午後、「中国の上午後、「中国の上下、 朝日堂へ押入る

までには八、九郎造のに主解倉職を奉出社に代 ・総別までには八、九郎造の ・総別までには八、九郎造の ・総別までには八、九郎造の ・総別までには八、九郎造の ・総別までには八、九郎造の

脊髓へ入る

高島が受けた弾丸

赤痢思者發生

一次かった由である。 なかった由である。 はいった。 貴公子 の好き続いであ

一二二軒に入り様子 ることが期間した、かくのできまがいら、検察は最初を中に入り上向に向つて止まつてる。 がいる、検察は最初を中に入り上向に向つて止まつてる。 がいる。 がいる。 大学とは見え、は背部から入り背骨を破つて脊髄、克一爾氏の遺球妙技公開は午後一日 の好き魅ひであったいと向に向つて止まつてる。 時より機働、一月の大学の小原専属選手村機響、展野 がいる。 大学の小原専属選手村機響、展野 がいる。 大学の小原専属選手村機響、展野 がいる。 大学の小原専属選手村機響、展野 はいる。 大学の小原専属選手村機響、展野 はいる。 大学の小原専属選手村機響、展野 はいる。 大学の小原専属選手村機響、展野 はいる。 大学の小原専属選手村機響、展野 はいる。 とで長春餐院から直に

□球妙技公開は午後一 ● 所選手村儀體、廣野 必手競技公所

ル工場の影響的に

り数は現在十二名でその内閣は無明に於ける十六日現在の陳彩病

るので観楽歌歌神課では旅游及び一来る十七日は海軍記念日に相當す

養職滿州林部では来る七月二日 修養園の講演會

所来宗繁市氏(四一)は病気中の盛 十六日午前八時死亡、十九日午後 一四時より罷祭場に於て悲儀を誉む 1

久保局長が

0 便 ŋ.

警察署員に

稼ぎ高約二萬圓

銀行團、大矢組聯合練兵場にて 春に浮れた跡

を開発は、 を開発は、 を開発は、 を開発により、 を関係では、 をので、 では、 をので、 をので、 ので、 等市郊外にある極楽寺は例は、 をので、 をので、 ので、 等市郊外にある極楽寺は例は、 をので、 をので、 をので、 ので、 ので、 等市郊外にある極楽寺は例は、 をので、 三十一直程の物を盗まれた

本人を表情である。 東人権と特定を表情であった。 が都合により延期となった。 が都合により延期となった。

他所で様子を覗ひ

日本人五名を傷けた二人組

| 大月中旬に歩行
| 大日日日をよりに対し対しが大日とをしたが大日を開発し一夕の勝一時に対したが大日を開発し一夕の勝一時に対しが大日を使用・大日を表が大日に動したが大日を開発したが大日を開発し上夕の勝一時に対しが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に対しが大日を表に映らしたが大日を表にから上中を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表に映らしたが大日を表にからするまでが大日を表に映らしたが





專務取締役 次 文式會社 平



熨

常務取締役 專務取締役 田

吉郎誠社

南满洲電氣株式會社 南满洲電氣株式會社



物

支 產 長 石 大連支 店 助



代表取締役 村 保險業會社 井 啓 次

鄉



張 所

大 仲 齊 之

助

長



福

取 常務取締役 世

加小高株 藤住尾式

友善秀 會 治藏市社

本は出来ないのであります。ルツ 中は出来ないのであります。ルツ 本は出来ないのであります。ルツ は認に失敗に終り又現在に於ては を選に失敗に終り又現在に於ては を関係の継続、道徳を確認してう 地震に失敗に終りなります。ルツ は認いその思潮に置まされてゐま を関係の継続、道徳を確認しましたが、それ

人 第

(日曜日)

爽かな初夏のよそほひ

最新の

流行

日 した は である家庭を 表職して 関係 でありますから姿勢の 場形を でありま であります という は と であります は であります は であります は であります が () か、 が () か、 が () か に 立 () な () であります が () か に 立 () が () でありますが、 一 らか、 が いて るる は とい か き 変はまた 格別の美しさ は () を は を でありますが、 一 らか、 が いて るる は は とって なる さ し い 歩き 変はまた 格別の美しさ が () と でありますが、 一 らか、 が いて るる 時は 生って るる さ し い 歩き 変はまた 格別の美しさ が () と でありますが () と が () が た い や の と である 家庭を 表職して 関係 こ でありますから 姿勢の 崩れ 易いも が るります。 皆から 日本の 婦人 () は い 事で ありま が るります。 皆から 日本の 婦人 () は か い み に なって 小 刺 み に 歩く の 的 に 立 () な りまで ありますから で ありますから 姿勢の 崩れ 易いも が るります。 皆から 日本の 婦人 () は か い 事で ありま が 一 般 () が 一 般 () が 一 と ら は か い 事で ありま が 一 と ら は か い 事で ありま が 一 と ら は か い まで ありま が 一 と ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い み に か ら は か い か ら は か い か ら は か い よ か ら は か い か ら は か い か ら は か い よ か ら は か い か ら は か ら は か い か ら は か い か ら は か い か ら は か い か ら は か い か ら は か い か ら は か い か ら は か い か ら は か ら は か ら は か ら は か い か ら は か い か ら は か い か ら は か い か ら は か い か ら は か い か ら は か ら



人畜無害

• 農作

イマツ牧取者イマツ牧取者

▲蠅、油虫 蚤南京虫

美一食家と云はれるやうなん

料(五人分)

▲牛馬の虱、螺、蚊除 ▲鳥の羽虫、豚の虱、螺、蚊除

除に効力組大

故除に本剤を用ゆれば

婦人は先づ第

(六)

は衣服の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係がは大きます事も禁物でとれたのが一番。

は衣服の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からもまりによりないと云ふと、西洋編の上にしくあまり前からな生々とした歩き方は身と足の選びは從来より聞く運がを要がある。

は衣服の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係からも身體の陽係がと対した。

「大きないと云ふと、西洋編のよいを選び、腰を精え身體とないをあると思ひます、西洋編のよいを選び、腰を精え身體とないをもないと云ふと、西洋編のよいを変しくあまり前からなりません。さりとでも海かさを失はないやらにとないとない。

「大きないと云の陽係が、現在では、一下にないます。 大郎を確認を表している。 西洋編が上では、大郎の陽係がは、日本編が上では、大郎の陽係がは、日本編が上では、「大郎の陽係が、日本編が上では、「大郎の陽係が」といる。 こまでも海かさを失はないやらにといる。 「大郎の陽係が」といる。 「大郎の陽解析」といる。 「大郎の陽解析」」といる。 「大郎の陽解析」といる。 「大郎の陽解析」といる。 「大郎の陽解析」といる。 「大郎の陽解析」といる。 「大郎の陽解析」」といる。 「大郎の陽解析」といる。 「大郎の陽解析」といる。 「大郎の陽解析」といる。 「大郎の陽解析」といる。 「大郎の陽解析」」といる。 「大郎の陽解析」」は、 「大郎の陽解析」」といる。 「大郎の陽解析」」は、 「大郎の陽解析」」といる。 「大郎の陽解析」」といる。 「大郎の陽解析」」といる。 「大郎の陽解析」」は、 「大郎の陽解析」」といる。 「大郎の陽解析」」は、 「神神の陽解析」」は、 「神神の陽解析」」は、 「神神の陽解析」」は、 「神神の陽解析」」は、 「神神の陽解析」」は、 「神神の陽解析」」は、 「神神の陽解析」」は、 「神神の陽解析」」 心靜かに歩かなければいけませんとまでも海かさを失はないやうに

関首つりと云ふ恰好の奥さん――インチ

3

奥さん

考へるところが

曜

多时里

ヤア

ノラ

今

昔

小學兒童の 近眼とトラホー 注意が肝要… ム豫防に

參

月

五

四

子供を育て上げるここが

とな

國家社會への貢献

をちぬ。若し目の工合が悪いやうにな多いから此の監特に注意せねばなり

元 婦人に缺けた

野枝 五通りがある。然しこれ変けの味 來人間の味覚には甘い、

東洋總代理店



朝の満足 「本書のます」
「本書の ◇類はスク試みてに聖により光明へ◇電話西陣に表光帯・編替大阪沿着豆番

材料(三人前)−顧三十五気、ジ ◆丸め鰯のバタ焼

=

五月の料理

シルル病

赤らの間では、 大きのである。 白味と質味を含んが、 たり質味でご、 四で緑波と変味を 名 別の 正常ないた 領質味でご、 四で緑波とで 作るや ではないではをする。

"

カー

肺病を全治

黄

今

化 學

○大排除には衛生と

本品をマカれよし

究所

畜魂祭

昨日北崗子の

交通整理會議

大連署に於て

大連民政署運動會

屠獸場にて

日までの期間中その申請の受付を他は一般に来る六月一日より同八郎通電話は大連、報天振戦を除きの通電話は大連、報天振戦を除き

不用品交換會

若豐武眞者吉常白岩清電 戦 ノ曜 木水山虱山鶺島山県岩山川

映書物語 英傑太陽秀吉(二

朝顧日肥。

、鹿兄島漢族

| 日東組左の城し| 日東組左の城し| 日東組左の城し| 一十八日歌電| 東京大相撲四| 一十八日歌電| 東京大相撲四| 一十四日 | 一十四

太牛唱の行動唱

寄附電話申請

第四日日取組

二路三十分

部受付

護謨風船の如く

號乘組員の話

弄さる

日

八亦た振ふ

店陸下の御前にて正式に御野面遊ばされた

宮殿下と徳川喜久子姫は太田午後三時より青山御所に最大宮殿下と徳川喜久子姫は太田子後三時より青山御所に最大『東京十八日發電』今秋晴の御照像を挙げさせられる「呉

きのふ青山東御所で

雅元の後三谷右前安打せるもの 和元の後三谷右前安打せるもの 大いて出で伊達三版、水上四 大いて出で伊達三版、水上四 大いて出で伊達三版、水上四 大き事一球を中堅に安打し 大き事一球を中堅に安打し 大き事の好機を得、小川一壘右 で発達の好機を得、小川一壘右

松宮と喜久子姫

式御對面

排日を煽動した

早大三點を

點を加ふ

版中會社、銀行、商店を片つ端より日本ので各方面の被害風々た というたので各方面の被害風々た をはなったので各方面の被害風々た をはなったので各方面の被害風々た

の勝負

けふ

の陸上競技

時間別から見た番組

支那人の

武術團

特使殿下吳へ

戦

クニ五、ボール四二、フアル小川 投球 七(ストライク) ボールニ、ファウルニ) ボール四四、フアウ

3000011520 4120100411 4110000040

325A110 1 2 317 9 2

胃險と忍耐を要する

其の後様々な交通運輸機関の制 得るであらら?また如何なるコー 時代的な発達に伴れ・各入間 2 臣 スを選ぶ事が紅白南 派選手五人の 離は時間的に益々短縮されるに至

ムス河流と隅田川の水とに一脈の 嘶鎖がある事を識つて腰を拔かさ

想投票締切期日も目前の間に迫り るる事であらうo 然し的確なる所 要時間の推定は専門家さへ困難を 當りの幸事の筆を引き當てるか五 里霧中 / 間に盆 ▲ 興味は加はつて

(米)

ド環典對南阿第一日シングルスで

荷新

東京風菓子謹製

8

交員

食料品

如何なるコースを選んだならば

的省なる時間を算出する事が出來

地理 ! 的的 來り なきは謝絶大阪市天王寺町八八四、先灌なり、見本と説明書切手十五、

1

職自者有生 看 合電篤癒 叙法 生の 巐 資資と

町島敷於

義書換ヲ停止致候に表書換の停止と

大連商品信託株式會社 13リ第十五回定時株主建

一個にて

**きき

一大日發電】三日目の勝負日、 本川(帯り倒し)第 / 海 (高・)到し)第 / 海 (日し)第 / 海 (日本) / 海 (日本)

年 うう通

は

型を保存がある方 型を差 白衛 御

市部坂 雪の 別れ

負 大連二葉町七一 會合
社資

設土 計木 監建 督築

三十圓 毎月 三五 **建** 短兒 十囘滿了 ರಾಣ

大連に入込む 不良記者又も

テイングでは青山、濱崎、見玉の三投手が交べで投げてる は
第三、小林、英田の各幹事がペンチに納まり、中澤監督
が盛んに米型を振つてフリーバッテイング、レギユライバッ
のテイングでは青山、濱崎、見玉の三投手が受りたっておける
の神智に集中し殊にレギュライバッ
のテイングでは青山、濱崎、見玉の三投手が交べで投げてる
でおいた。
本風に
は縦子、小林、英田の各幹事がペンチに納まり、中澤監督
は縦子、小林、英田の各幹事がペンチに納まり、中澤監督
においた。
は縦子、小林、英田の特別の
は縦子、小林、英田の様智は、さすが張りきつてるた。
流具に
は縦子、小林、英田の様智は、さすが張りきつてるた。
流具に
は縦子、小林、英田の様智は、さすが張りきつてるた。
流具に
は縦子、小林、英田の様智は、さすが張りきつてるた。
流具に
は縦子、小林、英田の様智は、さすが張りきつてるた。
流具に
は縦子、小林、英田の様智は、さずが張りきつてるた。
においた
においた

満雷

兩軍の練習振り

の練習振り を持つ時より

高水祭・中学・神学を持つた
大連田中民政署長大連市會議員 開催、市院を署の資源保保安主任
及茶谷小崗子青春署長以下各書・門底交通、規則實施後の経過紙保安主任
及其の實施によって改善を加へれ
な其の實施によって改善を加へれ
な其の實施によって改善を加へれ
な其の實施によって改善を加へれ
な其の實施によって改善を加へれ
な其の實施によって改善を加へれ
な其の實施によって改善を加へれ 來る北

二日午後七時から

回獨唱會

會館に於て

圓五十錢 日







日日

賞當選小說

生

(184)

對關法人理化學研究所管理

開催が其像素着色の

太

門里感》

書

見本のタログ機具

八無当

百

ができたけを考べてるたのであったのである。 しょう その事だけを考へてるたのであらり、跳ねて、米い職後の胸にわだかまな、原が下されて容室には一ないと思つたのであつた。 ないと思ったのであった。 ないと思ったのであった。 ないと思ったのであった。 ないと思ったのであった。 ないと思ったのであった。

になった。 になった。 なった。 。 なった。 。 なった。 。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 。 なった。 。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 。 なった。 。 。 なった。 。 なった。 。 なった。 なった。 。 。 なった。 なった。 。 。 な。 れば、何故、あの女はこの数、座を外して休憩室や食室に及まれれば、何故、あの女はこの数、座を外して休憩室や食室に及まれれば、何故、あの女はこの数、座を外して休憩室や食室に及まれ

小川邊に坐してなり、一個である。

の食気の時にも増してゆるぎ始めて、早間の信念 であららか。この美しいなたのであつた。

などとは考へる本さへ出来ない事に近づからと言ふのであららかっなどとは考へる本さへ出来ない事に近づからと言ふのであららかった。とは考へる本さへ出来ない事に近づからと言ふのであららかった。とは、まるで砂上に建てられた機関分使用し得る職権に思ひついた。は、まるで砂上に建てられた機関分使用し得る職権に思ひついた。は、まるで砂上に建てられた機関分使用し得る職権に思ひついた。は、まるで砂川の大きに近づからと言ふの大きに表している。 女が軍事った。

も、早脂らの席に向つてさ 「者しも、酸の考へと気懸塗った」 を浴びせかけてゐるではな 女であつたとすれば、何と言ふ不 を浴びせかけてゐるではな 女であつたとすれば、何と言ふ不 を浴びせかけてゐるではな 女であつたとすれば、何と言ふ不 は、いつぞやの際村子爵と 喚び起されたのは、どうしても今 は、いつぞやの際村子爵と 喚び起されたのは、どうしても今 は、いつぞやの際村子爵と 喚び起されたのは、どうしても今 は、いつぞやの際村子爵と 喚び起されたのは、どうしても今 は、いつぞやの際村子爵と 喚び起されたのは、どうしても今 は、いつぞやの際村子爵と しまるのなのほんとうの 強いと言ふ不 りり、「は、「一人」のでは、「は、「一人」のでは、「一、」」のは、「一人」のは、「一、」のは、「一、「」」のは、「一、」」のは、「一、」のは、「一、「」」のは、「一、」」のは、「」のは、「」は、「」」のは、「、「」」のは、「、「」」のは、「、「」」のは、「、「」」のは、「、」」のは、「、」のは、「、」のは、「、」」

是非

御來店下さい

肛薬一杯のお客様を

帝習便秘、

乳兒綠便、

小兒膓疾患 その他

慢性腎臓炎に

稽實なる薬剤さして ※効最も

全國官公私立大病院のほか

知名醫家によりて賞用せらる。

腸内毒素に因る動脈硬化症、

るほか消化を催進し、膓の生理作用を保護増進して根 ピオフエルミンを服用すれば腐敗・異常醱酵を防止す

本的に膓機能の恢復並に

健康増進の効果を取めます。

常盤橋に 店は小さくても味は大連一流 マルイパンの紅茶店が出來ました 楽的に無持の好い



金に付金が

この... ・石鹼こそ立派に 近代科學の工程・ 放に皮膚は合理 放に皮膚は合理

正しく彼女はにこやかに、時には寒山百合子は外の何者でもない。時にはいかの何者でもない。

後ははひ深く、彼女の舞歌から

い「若しも、他の考へた様な不敢なりのであつた。

○ 哈爾賓 松木座牛子

草

島田青美麗

のがじし風をそびらに草摘め置や面上ぐれば迅き鐵

いよのち立泡もとず

滿日俳壇

東京劇場の客館のの製作は、業だっこの支那的校さへ不思議にある。 われらが不思議なる眼をした事を知つてるるものはないのい数をあけた。 かなどについては惟一人はつきりい数をあけた。 かんらが不思議なる眼をした事を知つてるるものはないのが数をあけた。 かんだいし、この女の前の数をあけた。 まままました事を知つてるるものはないのものがあるのではないのではないのではないのではないのではない。

われらが不思議なる眼を

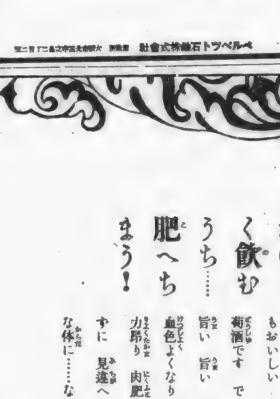
出日馬

最後の舞臺(こ)

彼女には、まるで影の様に附きま

前の倒いたしましたので、本日機能はの倒いたしましたので、本日機能はでないて相談のます」

第二首 711名之中国大市研入 別集書 社會式林機石トツベルベ



な体に……なる葡萄酒です 見違へるばかり 肉肥り知らず知ら



島谷汽船連出帆

京鵬荷谷東扱店(青島、上海行生 美山丸、 五月州 美山丸、 六月八 大阪商桁株式

ニホーム荷扱所

政記輪船

四政記輪船出帆

然葡萄を搾取醸造した とて

おいしい、とても滋養の葡萄

です

から誰方でも

元氣増し精

石し上る内に

そうです

赤玉は佛圖産の天

店商衛兵長田武 辞 咖啡吸水

● 市島 仁川行
● 市島 仁川行
● 市島 仁川行
● 体により製師の 東元 五月廿五日
一様により製師の 東元 五月廿五日
一様により製師の 東元 西島行
・ 京船田帆日崎は天候 大連 一日本式會祖大連八理店
・ 大連市山県通電市大連八理店
・ 大連市山県通電市
・ 大連市山県
・ 大連市山県
・ 大連市山県
・ 大連市山田
・ 丸 二 商 俞

回朝鲜郵船該山帆

近海郵船 六月廿一日六月廿一日

OFERMIN.

下あばん丸 七月二日李浦行 が高丸 六月六日李浦行 が高丸 六月六日李浦行 が高丸 六月六日李浦行 だがあ丸 六月六日李浦行

日本郵船

294 (D)

花環能はら屋花環店

布震丸

・電六」一七・三八下 大種加賀町三〇

口高橋汽船大連出帆

元月十九日が 一元月十二日後六時 五月十二日後六時 五月十二日後六時 五月十二日後六時 五月十二日後六時 一元 (大連市敷島町) 一本 (大連市かり、上海 (大連) 一大 (大連) 一日 (大連) 一日

五月廿二日前十一時五月廿二日前十一時

五月十九日後六時五月十九日後六時五月十九日後六時

河南進撃の手筈確定

に参列のため渡支する大養翁芸別 「東東特代十七日秋」孫立珍似祭 会の席上、田中首様は左の虹き校

にするものである、我帝國あり、我々の万針と全然動あり、我々の万針と全然動意とに、我々の同情することに努め、我はの日情する。

ある

「南京十七日没電」等代表した「総指揮何慶飲、東路總指揮朱培德・職徳地方、電文不明(張自忠か)開「南京十七日没電」等代表したが探修り宣歌布告と同時に登表に決定が三時間に至り緊急軍事創業を開いて進り続けるとして不配を揮。「漢級方面 信陽武勝闕間程務及六氏を総司令部に質譲融、朱培徳、氏、蔣介石氏自身は徐州及は野草 対那州間三ケ師園 信陽武勝闕間程務及六氏を説の具體家を協識したが探修り。「在り全軍總司令として不配を揮。「漢級方面 信陽武勝闕間程務及六氏を説の具體家を協識したが探修り、「第八石氏自身は徐州及は野草 対那州間三ケ師園 との書談が三時間に至り緊急軍事創業を開いて進り、東介石氏自身は徐州及は野草 対那州間三ケ師園 との書談が三時間に至り緊急軍事創業を開いて、「南京十七日没電」等代表には一緒指揮何慶飲、東路總指揮朱培徳・職徳地方、電文不明(張自忠か)開いまた。「南京十七日没電」等代表には一緒指揮何慶飲、東路橋指揮朱培徳・職徳地方、電文不明(張自忠か)開いまた。「南京十七日没電」等代表には一緒指揮何慶飲、東路橋に対して、「南京十七日没電」等代表には、「南京十七日没電」等代表には、「南京十七日没電」等代表には、「南京十七日没電」等代表には、「南京十七日没電」等代表には、「南京十七日没電」等代表には、「南京十七日没電」を認識したが「東京」を記述して、「南京」を記述して、「南京」を記述して、「南京」を記述して、「南京」を記述した。「南京」を記述して、「南京」とは、「南京」というでは、「南京」とは、「南京」は、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」とは、「南京」は、「南」は、「南京」は、「南」は、「南京」は、「南京」は、

部製館、軍官學院卒業生の結就入 表に依れば蔣介石氏は今夜機司令 「南京十八日發電」総司令部の破ると

河南省内の

及び手兵「千を從へ南京競徐州

馮軍配備

武勝關

欣びこ」する感である、

備し河南進撃の手管を確定した上ける馮玉祥軍の配置現状は左の通に乗込み、津浦線上の南京軍を整置した上ける馮玉祥軍の配置現状は左の通い東込み、津浦線上の南京軍を整置、北平十七日致電」河南省内に於

一六日北年愛の孫

あ 階海州方面 閉封蘭封一帶孫良誠、徐りである

【南京十七日發電】徳司令部の情

帝に日本の / 命に日本の / 命に日本の / 作のは明治州一年頃 かたが犬養氏の如くに衷心たが犬養氏の如くに衷心たが犬養氏の如くに衷心

意圖が

初めて成就した

現代支那思想を

絶滅は不可能な

大

觀

0

社民拒絕

合同出來ないと

職業的排日

弟子丸滿鐵輸出主任視察談

研究して見たい

犬養氏の答辭

間に至るやも知れず此に政府は省名を に至るやも知れず此に政府は省名を を選集三回委員会を開き決議を以 を選集三回委員会を開き決議を以 を選集三回委員会を開き決議を以 を選集三回委員会を開き決議を以 を選集であるので此の際 は省名を がよる。

官分の支那行は何分老齢の

が、孫氏の不遇時代は特に日本を述べた
が、孫氏の不遇時代は特に日本を述べた
として今日支那國民の見る處では
して今日支那國民の見る處では
して今日支那國民の見る處では
して今日支那國民の見る處では

滿蒙鐵道

驛傳競爭

改名し香煙等では撫順炭も囁高されてゐる、反日命も数映會とされてゐる、反日命も数映會と

0

概させてゐる、元來は五銭の数四資金を取得

•

に集合

と、なつてある。かくて明朝入る研教後の「別職競争の幕は華々る研教後の「別職競争の幕は華々

を終て大道時に第日を整へ大演場 を終て大道時に選手を見ぶるこ

が联締を戦命しても短いる様な現状では如何に関

九二(晴)

天

戰況

(日曜日)

原京十七日殺電」馬玉祥氏等十八名の連名で蔣介石討伐の通電を設したとの報客地に達した 『南京十七日殺電』馬玉祥氏等十八名の連名で蔣介石討伐の通電を設したとの報客地に達した

一路總指揮官決る

蔣氏以下の軍事會議で

人養氏

は

國交のため

2

に喜ぶ

故孫文移枢祭参列送別會で

中首相の挨拶

眞意も

から

日八十月五

凸版と

町公

雜色軍

荻川放談 育と馮との確執は、終に之を職

(39)

おばならぬとあつては、革命ののが、其勝敗に難色軍を打算せめ既民政府の務負席とあらうもめ既民政府の務負席とあらうものが、其勝敗に難色軍を打算せ

いが唯だ自分の考へてゐるとといふしかつめらしい言とといふしかつめらしい言とといるとない。 招待部木三郎助氏

政府側の表決權 剝奪の意想 執拗なる樞府の態度

問題以上の離職に対流したわけで

して超過は相當の數に上るべく今 ないられるから、定蔵廿二名に對 後に自然戦の展開を豫想される は七名を出馬せしめるの意無込と最も結束の楽園な沙河口工場から

農民の提議

■院長)十八日入港はるびん ▲野中義一氏(関東中郷理部技 新治式(滿**鄉**軍山製修所

▲ 地田龍維氏(大倉 尚事社員)師) 同上 山神氏(獨東軍高級周官)四

名 同上 ◆陽東縣管內會更員內地觀察關 算 努 実

第一个《東京十八日發電》 任旅順工科大學豫科教授(五等)

事

線の著骨器店にて **輸起日本警音** 御貫上は全國到る 青年議員候補者

大連は二十名に達す

信では、蔣に對し場は終に實践 またが、 はますの影響を及ぼす。 の動脈に基大の影響を及ぼす。 の動脈に基大の影響を及ぼす。 に見書が計言しにや、それは をあれ支那に戦争の減根を培 に続きなが、 関氏政府の施 には、 関氏政府の施 には、 で、 関氏政府の施 は、 で、 関氏政府の施 に、 で、 関氏政府の施 かりでなく、李白に概で起つ旅

と言はる、遺は勝介石が自己に有る場面の京漢線破壊は隆道を爆破 と言はる、遺は勝介石が自己に有る場面の京漢線破壊は隆道を爆破 と言はる、遺は勝介石が自己に有る場面の京漢線破壊は隆道を爆破 と言はる、遺は勝介石が自己に有る場面の京漢線破壊は隆道を爆破 と言はる、遺は勝介石が自己に有る場面の京漢線破壊は隆道を爆破 と言はる、遺は勝介石が自己に有る場面の京漢線破壊は隆道を爆破 と言はる、遺は勝介石が自己に有る場面の京漢線破壊は隆道を爆破 と言はる、遺は勝介石が自己に有る場面の京漢線破壊は隆道を爆破 と言はる、遺は勝介石が自己に有る場面の京漢線破壊は隆道を爆破

新きなが、比較要を指すったが、 をとしてまた立ち能はざらしめ が、よいで、何れも自中と思へば なが、よいで、何れも自中と思へば をもが、比較要を振り、のれる自中と思へば をもが、比較要を振り、のれる自中と思くは をもが、比較要を振り、のれる自中と思くは

蔣介石氏も俄に豫定を早め

緊張す

9

馮討伐

令を出さり

る歌歌やに察せられ、青とてもを歌が経えない。 高に馬を攻撃するの歌志は、電話が如くにして強からず、はの をおが経えなる歌歌で、さりと は経りに観索と云はざるを得り は経りに観索と云はざるを得り はなりに観索と云はざるを得り はなりに関索と云はざるを得り に配せ

巴軍を絶滅せんとしたに外

らぬ。

「日今」とあるは「飢酸を挙げた」に見法が回じく九行日の「日今」とあるは「飢酸中なるが、八日午日の「協議中なるが、八日午日午日の「協議中なるが、八日午日午日の「協議」

木下長官驚く

撫順を盛んに賞めて ける出發、安東へ









B

本年度の實際ではより来る六月二日(日曜)午後により来る六月二日(日曜)午後月初的から火の近き練習を観いて、一人の主料を集したのメムバー交換を行った。兩チームは既に今月初的から火の近き練習を練行さるとしなり、大のだけがには野のコンドションにあり、午後である。

實現も疑はしい

Z伯號の發動機故障

五

連したが、元での原連は大阪において入宅計画で終行が高されたもので、その第二進行中であつた解除の一部が完成すると共に設した解除の一部が完成すると共に設した解除のため歐米に出張を命せらなれたもので、その第一歩として確認したもので、その第一歩として確認した。

海賊に乘船を占領され

露西亞町コートに於て擧行 愈よ明十九日午前九時より

日報

ヶ月引き廻さる

やつこ支那艦に数はれた諸威の

つた事を知らすべく電文をしきり

にひねつてるた(穹貫はモンセン

午前十時

女宣教師けふ來連

大連屠場で、 は何れもお土産海山で十八日正午より根線であれた。 に行ってもた関東原理事官解田道 は何れもお土産海山で十八日正午より根線であれた。石本市 であところで受けた戦迎に満足の であるところで受けた戦迎に満足の ■身の廻りの品を一つ残らず掠てあった拳銃を突き出し乗組員

最近しば下の民家百戸は全然原だ。 後十一時ごろ既然一大音響と共に 「できたの民家百戸は全然原だ。 はない。

神社会場の第十四間が十六명 東本十七日設電』天京郡富津村

ロン藝妓が

御買物の特製の特製の

天草郡の椿事

部落全滅

た同志に渡しその後一同を監禁。

兩切豫備工盟休す

營口東亞煙草の

「東京十七日發電」■東學生トーススに遅れて十七日發電」■東學生トーススに遅れて十七日大震殿大コートに繋げ収大の作業送しがプロースにより、

早大佐藤優勝

搜查願 春な

要者手でもつたが、十八日大阪市天王寺村からとして同女より 販市天王寺村からとして同女より 販市天王寺村からとして同女より のだその文面によると

からの顧出により大連署に歴

柯納館仙

大連署宛に

四三宮本八重子かたに立廻つてがヒョツとしたら大連著狭町二がヒョツとしたら大連著狭町二がヒョツとしたら大連著狭町二がヒョツとしたら大連著映町二人一木要助の妻長崎市銀屋町二八一木要助の妻 して捜査方を願はれた者 く春の憎ましさから所花を晦ま るらしいからと十八日山糧通り、 、行方不明になつた、大連にる 、行方不明になった、大連にる 、で、大連にるでは、 、で、大連にる 、で、大連にる 、で、大連にる 押へて異れと夫から大連署へ

に内地と大連を往復して委より 金を絞る事ばかり考へてゐます 金を絞る事ばかり考へてゐます 金が殖へる一方であるに年はと 金が殖へる一方であるに年はと 金が殖へる一方であるに年はと ました。ソレやこれやを思ふと ましくてなるず、身體は弱つて変 ましくである。

他の職工を牽制してゐる。この龍工が延長すれば各部の緊務連絡が失はれ再び全職工の砲撃とかった結果、また人、同盟砲撃を全て十七日午後三時一局工場を去り目下外部にあつて類りに勢らざっため記責されたのを懺慨し監督劉某の更迭方を會社に要求したが會社嶼が近に腰じなる。に間能を起してゐる營口の東亜煙草工場職工の内兩切豫備工三百七十三名は十六日の仕事が常。

なるやり知れずとして非常に憂慮されてゐる

藤原義江氏を廻る

驚異・嫉妬・羨望

近く大連で獨唱會を開催

等差競技

1 (1) 1 (1

仕事の捗らぬを譴責されて

きのふ全部が退場

愈よあす擧行

事も出來ず前記の場所にでありましたが、 で以心事でありましたが、 死以心事でありましたが、 変出しましたが、 変出しましたが、 変しない。 瓦斯實演會盛況

締違反

関る」と聴言してゐる

るが、東京では出版して世界所 本ールに出版して世界所 家の地では明常が、東京では月また、近くだ では月また。近くだ では月また。近くだ では月また。近くだ では月また。近くだ では月また。近くだ では月また。近くだ では月また。近くだ では月また。近くだ では月また。近くだ

また彼が主難だといふやうにわ 紐言の無臓感ジークフリード、断った、いま契約してゐるのは

日のでは、 なます、 は を なます、 は を なます、 は なます、 は なきを は に 一寸関のるる で 日本部を描くのだと言つて な で 日本部を描くのだと言つて で は に 一寸関のある

が、支那人に扮するのが欄だと

おれ等のテナー 藤原養江氏がかって来た、彼の驚き者である全 のヴァレンテノ張りの長いよみ あげの瀟洒な姿でシングルでき あげの瀟洒な姿でシングルでき なの驚き者である全 がした愛人を

フーリースの「イースト、ウエス・ウエスト」で出演者がきまれば渡米するらしい。

0 驛傳競争の栞

保管方法を公明正大にしなければないがあります、比疑問は

0 の可否(二)出版は必ず大連隆

と云はれてます、で私は一先 機能を含治しているようでは を変える。 できる。 できる

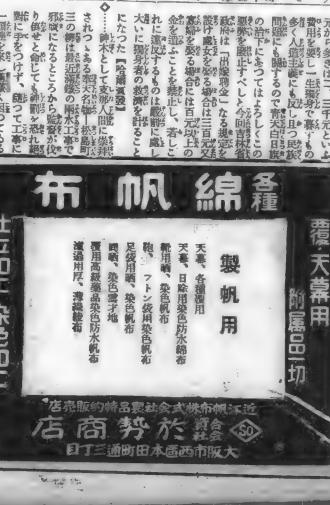
▲沙河口日本基督

をの鑑だけ訂正します(係り) が當分休止となりましたからが當分休止となりましたからが當分休止となりましたからが出るが高適列車が高速の車が高速の車が高速の車が高速の車が高速を使用出 → とり「キリとり「キリー」

がから

北馬

八連取引所錢鈔信託株式會計



加工、決色加工

であるが、北流で試みられた、最初のマネキンガールなので、最初のマネキンガールなので、 はいのやうな人だかりである 『哈

賓の支那難貨商問題

米製商 ◆ 士 円命願上ます

澤を願ひます ひに漸く確定せる本年の色調流行品の豊富に山積せる専門店にて 政に漸く確定せる本年の色調流行品の豊富に山積せる専門店にて 萬能時代です柄に組織に從來の御召又は明石上布等を凌駕せる一

が 十二週より ・十二週より





專

正是

25

(..

1)

(三)

銀金

三炭枚

一、二世界、元中山山山

手形交換高(十八日)

ねばなるまい。

建黄

0

十九扇二と十九扇二と十九扇二と

苦節十年の永き

未だ惠れぬ戦士達

外の支那領域に

財活頭を聞いたる 別にない氏が、 好な皆、除名五、

滿鐵商工課關係

官舎あり西部には早苗宮には運動場の東部に福見しかして既に建築工事的では建築工事的

には早苗高等小學を発表しては早苗高等小學を発生のもからない。

のものがあり

北滿地方を視察

大連輸入組合が組織する

和 二一六五 二一六五 和 二一六五 二一六五 二一六五 二一六五 二一六五 十本 来高 一十本 平高 十本 四〇八〇 四〇八〇

一行來る廿四日出發

輸入組合三浦貿四郎 松原梅吉、滿鐵商工課成田正

上海標金 上海標金 上海標金 一三六七兩三 三六七兩三 三六九兩九

株式名義書換停止公告
昭和四年五月

大連取引所信託株式會社

石田禮助氏

近~榮轉

紐育支店長に

產業助成金

助成制度實施以來五百萬圓

逐年増加の趨勢

年度常總額は逐年増加の趣」等相當廣汎な事業に亘つてで

者の数を逆引たる出生過剰に体 を 15 では出生者の数よりな は 15 では 1

同四、九九三、七七十大連保險界へ今回加奈陀マニュフト、九七〇、〇〇〇一各國保險會社の進出と打ち續く財

同一、九七〇、〇〇〇

加奈陀マ保險

大連へ進出計畫

る 三井物産洋連支店長石田醴場氏は 中 元品に、近く製装となる模様であ 製 内定し、近く製装となる模様であ 素 る右に就き當の石田氏は順低説を を る右に就き當の石田氏は順低説を を る右に就き當の石田氏は順低説を

年四十九萬人、昭和元年五十九萬人、十三年四十三萬人、

多く大正十二年

花陶町、水仙町、薫町の一部を 既に摩校及官舎、滿錢宿舎、一 般住宅を以て相當の衛星を構成 せしめ、薫町の一部山吹町及菖 帯町は 本地の脚分狀派は

大沌商議書記長

に

は

n

整地濟は十八萬坪

は戦前即ち大正

の四種目で他の四十三種は保合である、而して経合の変定する指数 ある、而して経合の変定する指数 ある、而して経合の変定する指数 を見きるによるの変にする指数

TOKUTAICO LTD

公債社債株式賣

一金五萬多千拾六圓武拾七錢也一金五萬多千拾六圓武拾七錢也一金四千參百貳拾四圓拾五錢也高計金五萬七千參百四拾圓四拾一金銀千圓也也。一金銀千圓也也以金寶萬五千圓也以金寶萬五千圓也以金寶萬五千圓也以金十七百五拾圓也沒員賞與金十七百五拾圓也沒員賞與金十七百五拾圓四拾貳錢也以上金級千圓也以是官立金十金四千七百九拾圓四拾貳錢也。

洋伞杏、

毛皮鞣、染色 於聖田洋行被 合養豐田洋行被

・ 金銭七厘寶唱へであつた 工座、六、七月三十九銭、 工屋、六、七月三十九銭、 大、七月三十九銭、 大、七月三十九銭、 大、七月三十九銭、 大、七月三十九銭、

土郊 飾 大

別寄り寄り寄

二滴 新 新徽 東 引寄引寄

を変形人移住の増加するに伴ひ自 原本の其六階を占めて居るのである 原本の其六階を占めて居るのである 原本の其六階を占めて居るのである 原本の其六階を占めて居るのである 原本の類は関連の数生活 に対臨してゐる、而して同社の特」、全関卅二ケ國に支店及ひ代理店を知識を英領加奈陀トロント市に有し、領別に奔走して保險界型。 一個別に奔走してゐるが、同社は本一

消費組合

公告

株式の海取のは山 再

茶代廢止大勉强

シックリトシタ 洋服の生命は

夏向新着

株式取引人組合の巻言

根語するが如く、総合もこれに解合されて整要を確立。 に関右の取引人組合及現物。 電気の取引人組合及現物。 である。 大型にないなにあるが、 であるが取り、組合負相互の親交と を設置の数における延及び取り、 であるから、 であるから、 であるから、 であるから、 であるから、 である。 である。 であるが、 では、 であるから、 できたで、 であるから、 できたで、 であるが、 であるが、 であるが、 であるが、 であるが、 であるが、 であるが、 であるが、 であるから、 できたで、 であるが、 であるが、 であるが、 できたで、 できたで

である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 であるが、 を受けた所謂を を受けた。 を受けた所謂を を受けた。 を受けた。 を受けた。 を受けた。 を受けた。 を受けた。 を受けた。 を受けた。 を受けた。 をできるが、 をできる。 をでをでを。 をでをで。 をでをで。 をでを。 をでをでを。 をでをでをでを。 をでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをで。

□□ 克 □⊇ | ルート | スラスス三先

○ 1 | ぎ付 益大

LI另列

特 產 地市况(計八里)

ね

-Wasser

N



北平特電十七日發」馮玉祥氏は十七日鄭州で韓復渠 討伐令を出し宣戦を布告した 臨時緊急會議を開い 國辱外交に甘んじたるは黨國の仇敵なり た結果

道は東北日省

とに激彩し張、

できば返電し来った

せられた

臨時法

相當

「央に反逆するは貴兄の身を滅し順を紊るものである。強かに入京して勝言が提助に依り別に一政府を樹てんとしてゐるととは領さんとしてゐるととは強貪を貯へて『北の地に嫌り中央反道を企てつゝありと於を辞表した 附を以て馮玉祥に對し大要左の如き長女の間間を酸しその

は六月一日の風文の移電監後馮氏より喧嘩を責られたものとして積極的態度に出づる

てゐる爲めであると、一方河北省境影響の馮軍・蘇州方面に集結され京漢線南北端とも極度にを修復しつ、信陽に向つてゐる、武勝間信陽間には一兵の馮軍もない、河南中部地方に集中した東十人日發電」武漢より北上を開始した劉崎軍は昨日武勝陽を占領し馮軍の破壊した隧道 小して主力を機海線に集めてゐる 『北平十七日歿電』唐生智の扇師は鑑道沿線に集中を終え、 神変元州に移動・中であるが、李神元州に移動・中であるが、李神元州に移動・中であるが、李神元の扇師

居生智軍

出動の準備

奉天軍

開港場に

を受け一昨夜八時半世

声島を模範的

大連も製鋼所建設

歸連した山本

滿鐵祉長談

く開査してからのことだ、最

る必要

馮軍各鐵橋を爆破

大きないでは山東の接収完全に終してきるが、大きにかった。 してきるが、大きにかるが、大きにかるを以て目下同省今後の細葉につき審議してゐるが、大きに終 につき審議してゐるが、大きに終 につき審議してゐるが、大きに終 につき審議してゐるが、大きに終 のの急急

るといふにあるらしい 尾鰭が 関で脹はつた、新聞は一寸しの後の民誉と云ふ言葉が内地の

ね、一石を投じたその被紋は案 くつ付くので

満蒙鐵道驛傳競爭を前にして

った。 て東支西 跡に通知

身別しは、 のは いまない。 を対すた

は名だたる北流の教育であり、は名だたる北流の教育であり、は名だたる北流の教育であり、は名だたる北流の教育であり、は名だたる北流の教育であり、は名だたる北流の教育であり、

不鐵の脅威たる

大神電十八日数 | 率大戦の間、軍程域で大神電十八日数 | 率大戦の間、「軍権域の間」のでは、「軍権域の関係のです。」とは、「大神電性者」を対して、「大神電性者」という。

籔橋破壊に 南京軍困 主力一部は徐州より 河南入の準備開始

度者しくは回牧を目的もしたもの であつてを慰唆さんに動し右提 になっているのと他はこに動し右提

春したいとの希望に基くものであではなく現在以上支那に有利に改

関連な嫌法を言し度に関する王正廷氏の提案

諾支南京事件

本学口山山田

マ学口山山田

マ学口山山田

マ学口山山田

マ学口山山田

マ学口山山田

マ学口山山田

マ学の

「大海王戦車は定州谷、正廷氏との間に交渉中の處照賞金が

「大海王戦車は一名の受けたる損害に属するもの呼音

賠償支拂で解決

きため関係國公使は未だ一回も之のと解釋されてある、能力の必要な別は取り急ぎ態度決定の必要ながない。

排斥を圖

「東京十八日愛電」 田中首相は 東京十八日受電」 田中首相は 東京十八日受電」 田中首相は 東京十八日受電」 田中首相は 東京十八日受電」 田中首相は 東京十八日愛電」 田中首相は 東京十八日愛電」 田中首相は 東京十八日愛電」 田中首相は 東京十八日愛電」 田中首相は 東京十八日愛電」 田中首相は 東京十八日愛電」 田中首相は

とた、景して金属鉄鋼の田金銀に使行の時 からなんるものは大きなで、現底の からなんともので、現底の からなんともので、現底の からなんともので、現底の からなんともので、現底の からなんともので、現底の からなんともので、現底の であるり、 ないましたとを下からない。 をいったとは、より自動館に中止せいるやきた。 ののは、また、上げまとの ののは、また、との をいったとは、より自動館に中止せいるやきた。 ののは、また、との をいったとの をいったとは、また、との ののは、また、との をいったとの をいったとの をいったとの をいったとの をいったとの をいったとの をいったと、 ものが からないとないまた。 ののは、 をいったとの をでいる をいったとの をでいる をいったとの をでいったとの をでいる をいったとの をでいる をいったとで をでいった。 をでいる をいったの をでいる をいった。 をでいる をでいる をいった。 をでいる 二不不二四七八楼 五 四五七八墙 九〇六五引

六月一日 ●施設は満洲第一●施設は満洲第一●施設は満洲第一 新エセツクス等練習車約十臺

任關東州公學堂教諭 液渗治校

神戶特產物(千八日)

學ぶには良校を撰 ~

支那側か 太堡事件善後問題 ら逆捻

秩父宮

東たので、 院債其他に勝し要素を抵出した 事げて我が、學良氏に對し主語者の處別、 獲書 日正式公文 譲領事より正式になる 暑を経て誤 を期間では「や影響」という。更に十八日林 本でははくことは時間過過のために 変依移法のことに常ること、なつ 変依移法のことに常ること、なつ なので観撃し氏の北平行きはとり

係各國は商議せず

○ 理物 後場(銀生)

○ 理 油 州來不申

○ 本 出來不申

生命素ととるなる

熊氏は都合により來適を延期-定であつた司法省刑事局長果!

白仁郵船社長

ずが出來るか

7

ベニヤ板、ベニヤ板、ベニヤ 各種

不不不二二三三後 六 六 四 六四四八七引 申申申○申申○○○○

に克山鉱方派に向って工

に至る一三

ではもつと進んでゐることは勿歌歌は塔哈陽 远の一九、八聖を歌歌は塔哈陽 远の一九、八聖を

株はじめこの鉄道製設に當つておればじめこの鉄道製設に當つてお

文の安達方面に出る巨額

倒としてこのク

から見ると――

と交渉せしめたのが対因となりと交渉せしめたのが対因となってるた

北満の富南流せん

さも達しやうとしてういった。

越えて一九二七年

天省長となり

ては不利であることを知っては不利であるから。

アロミツソン植民地関語である。 を対する構態の説意を強し でなど、対て形詞をしてある。 を対する構態の説意を強し である。 を対する構態の説意を強し 南京の物質 建設途上の

一中大局 二書編列 大月第三人

日本福近) 吉野 選問所入五九八番 野女タイプライ 中電腦需覚ライブライ 大山通小林又七支店 大山通小林又七支店 一大山通小林又七支店

印書

の御貨

家畜病

都院

通信権可收策

では、制度土地閉拓事業が、下火となつてるたが最近またもや、理されるが今度の海水人員は膨るで、制度土地閉拓事業が、下火となつてるたが最近またもや、理されるが今度の海水人員は膨るとと、制度土地閉拓事業が、下火となつてるたが最近またもや、理されるが今度の海水人員は膨るとと、制度土地閉拓事業が、下火となつてるたが最近またもや、理されるが今度の海水人員は膨るとを標準する官僚主義の、関右罷免の噂が仰へられてゐる、免職の上三、四側の滅俸をもつてと、一般の方針は膨るでは、別ち六月一日までに三百名が海水、再採用になるものが可成りある機・大きのである。 は、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、別ち、大きのでは、「ない」というでは、「ない」というに、「ない」」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」」というに、「ない」というに、「ない」」というに、「ない」というに、「ない」」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」をいうに、「ない」といい、「ない」という、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」という、「ない」というに、「ない」という、「ない」というに、「ない」というに、「ない」というに、「ない」という、「ない」という、「ない」という、「ない」といういい。」というに、「ない」という、「ない」という、「ない」という、「ない」という、「ない」という、「ない」という、「ない」という、「ない」というい。」という、「ない」という、「ない」という、「ない」という、「ない」という、「ない」という、「ない、「ない」」といい、「ない」」といい、「ない」といい、「ない」という、「ない」」という、「ない」」といい、「ない」といい、「ない」という、「ない、これ、ない、 れるが、今は邦人の所有面積三 は、各種の急話に使つて想像さ は、各種の急話に使つて想像さ

揺るがす等、神政百出、塞穴門 外の港に騙り、軍費に窮して貨 外を濫設し、東北財政の根幹を 職を繰り返しては無辜の民を嫌

ブラジル(三)

を忘れて南方に媚び、よしなきの保身に急なるの除り省民ある

かなりの遺憾がある。即ち自己 然るに彼れの最近の行戦には

南征雜錄

(22)

#

ポウロ市にて

次の時代へのつながり

またそうした不幸の直径

步兵中隊組

貸衣 電話四六九二番

たじまや電六六〇一番・お道具高値 四六九二番 まつや 館

大連埠頭待合品 料料 永海游**法**

極緊發離發病 康家青褐性後 地の全国病の が進風小脳の狭 生操指兒疾餘度電





がみやいる。 や歴銀行

育盟といひ、全支那は又もや助 同志と呼應して蔣介石討伐令を 同志と呼應して蔣介石討伐令を 関立といひ、全支那は又もや助 ない。而も一面文の如き觀察がさへ唱へ上げられまいものでも 上に於ける必然過程にして、か理由と必要はあららの或はこの理由と必要はあららの或はこのの論験よ人々にはそれ相應な 支那のために甚しく遺憾の念を であるか。 我等は であるか。 我等は であるか。 我等は てゐるかの如く見える。軍閥の亂の渦中に捲き込まれやうとし して清鴬作業を完成し、支那に於ける必然過程にして、か

勞農宗教團體

支那官憲

0

對鮮人施設

演田

八五一大連案內社 大連案內社

西高電 電話

費買金融專業

引越荷運搬は

井町大連製肉所出場の一三へ

學結八五七五

は後町一九日州野村七男ナ、オサントラック部へ

野中醫院

等の「かび」を取り除かればな

馬城討伐電台

關於直沒

では、大力を

新取締法令裁可

軍には 駐3回を襲

自然は一種の金融機関を

金融機關設立

信仰以外の活動を嚴禁

ねことになった。 談技会の要項を 示すと ますと 名以下の場合は信徒剛祉機の雇以上を有する凡ゆる宗教團體は本法に基意登録すること、二十本法に基意登録すること、二十

■の干渉を必要とすと論じ、米 力のみにては統一の力なし、河 支那」に於て、支那は支那人の 文形」に於て、支那は支那人の

事務澁滯甚だし

言論機關の間からも

漸く廓清の運動起る

軍閥と同等なりと論斷し、佛の私聞とし、其の有害なること個

にも目を載りてはならい。 即ち諸方面から行はれつ」ある事實

二重要議案

をは理事會を開き支那側と理事長が は理事會を開き支那側と理事長が は理事會を開き支那側と理事長が 支那側から提出 勞農側は本國に請訓

るものは、民意の瞬趣である。 に為政者の深遙なる考慮を要す :

疑的になつて來た事等は注目すを會委員方面の支那觀も漸次懷

國の有職者は殊に太平原問題調

統一が完成され國民革命が成就喘へぐ大衆を無視して、支那の

ればいいから

東支鐵道從業員

またもや大淘汰

六月一日迄に三百名

衛生 生

RILLING.

る

(日曜日)

四省に於ても同様だ。殊に父祖張學良氏の指揮下に在る東北

Mして名賞共に省民のための良いして名賞共に省民のための良い。

著しく中央の方針に遠反して なること
一、農民を標停する官僚主義の
際風が各地方共最も遊だしい
即成が各地方共最も遊だしい
即

標に向つて鋭意すべきであつた後としては實に「省民の政治」の一目

二、鬼変管弾局長の瀬限縮少問題 東支鐵道理事會開催 巾政籌備所長

爾黑河

の 光 公 司 に信濃町市場正門前

瑚と紫檀細工は 連子副業可訪問先指定動務地 選子副業可訪問先指定動務地 関係書要午後五時より六時迄 関係書要午後五時より六時迄 関係書要午後五時より六時迄 関係書要午後五時より六時迄 関係書等の一格 田中議信 電品二一三〇三派

作見 幽科網院

病沙分内科外

根本準局電大空 根本準局電大空

空細亞寫真 電質アルベム 電質アルベム 製大量製作

七彩

際治御好みの方は

一旁藥局

電話四六九二番

薬及治療

ユチ ロバン電話六六六〇 漁通町一丁目泰通 日電洋行 牛乳

ラチ オは何でも トヤマ府舎 深八七二二番 一九九、二二一式園 一九九、二二一式園 八五間 一九九、二二一式園 八五間 一九九、二二一式園

一部性 能勢とノ

吉野町 一萬堂電七八五九番 吉野町二六一萬堂電七八五九番 大導動 通五八南海堂眉山 漫電六六六二 技術本な 電五四三九

津町のほ四四三三

のヤナギヤへ 連市浪速町五丁目二一一 農**紙七九五三巻** 農**紙七九五三巻** 農

大連市志野町二五 **性病** 軟性下疳 皮膚

「可認動便郵櫃三郭)

满

日

報

配給亦亂脈

乏に

腐らぬ野菜は手に入らぬ

蔣馮の確執

と學夏氏

ラデオ露語講座

大連放送局五月二十日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

ВОСЬМОЙ УРОКЪ. 第八課

Дюрантъ?

Скажите пожазуїста, были ли

(女性) Скажите пожалуйста, будете ли

ソレデハ ソノ**時**ハ Я своболенъ. す魔法 通信

私ハ暇デス

试定 试定 以企低利極秘

明朝貴方の家ニ居りマスカ

Вы свободиль Вы заняты. Я занитъ. 貴方の忙かシイ 私ハ忙かシイ

姓 行 行 行 程 行 行 履 行

案内 拾 接 給 接 函 發 發 發

電話 類金 十年社 電差 十年社 電差

番不





常盤構工會

科器床淡毒梅康皮 重 **北流**四-福盤常-通西值大



まれて猛練習を設けてゐる、

既によってい

定等は左の如く決定した非常に期待されてゐるそ

その他の採點法は陸上競技はリース探點法は各種目とも一點とす

製工を要する場合は双方の協(へ)その他の種目はそれら試合法 ・ はつて決行す ・ はつて決行す ・ はつて決行す ・ はつて決行す ・ はつて決行す ・ はつて決行す

時よりア式蹴球、午後二時半よ 入場式、八時より陸上競技、十 一時から排球、午後三時よ午前九時から揉薄、劍道、 よりラズ蹴球、午後五時よ(一日(廿七日)午前八時より弓

(日曜日)

東洋服店その他一二日 前例なきことで長春機能から直に

三るので開奥職學術課では旅順及び

修養圏の講演

液會

記念日ご講演

大型の日午前九時三間を制定して を観に病み妻の劉玉蘭が縦死して を観に病み妻の劉玉蘭が縦死して はない。 ないでは、 ないでは、



南滿洲瓦斯株式會社

專務取締役



頭

專務取締役

常務取締役

村田 瞬 田 英

吉郎誠社



專務取 同 常務取締役

量一助社



漏

取 落 務 取 締 役

加小高株 藤住尾式 **友善秀** 會

仲 齊 之 助

出

張所長



19 店 長 石 田 連 禮支

助店



代表取締役

井 次 郞

村 上保險業會社

TAK DE POLITICE E

治藏市社

慢美な歩みず

日本の婦人は

(日 日) 学及

爽かな初夏のよそほ

ー最新の

流

H 離婚の増加

つと部屋の中央に高くつけるやうる、関係にし、そして部屋一はいが明るく 子供が ある場合には特にし、そして部屋一はいが明るく 学のたら手足を洗はせ目を裏布さ 辛がなければいけない。電燈の光を かつたら手足を洗はせ目を裏布さ 辛かなければいけない。電燈の光を かったら手足を洗はせ目を裏布さ 辛かなければいけない。電燈の光を かったら手足を洗はせ目を裏布さ 辛かなければいけない。電燈の東辺、せて埃を除いてやるが良い。 単校 五

良い・學校、五通りがある。然しこれでけの味目を裏布さ、辛い、酸い、酸い、、酸からい、の

ユースマスクー

ク化粧法

ラ時代

蚤、南京虫

イマヅ蚁取番

うになり、其のやうな歩き方は身と見の運びは從来より最く運びをといなりました。それではどんなるからになりました。それではどんなるからになりました。それではどんなるからに足を運び、腰を振え身體をある場合であると思びます。のは背縁のよいかと云ふと、西洋線のよいを上になりません。さりと、変の歩き方にとり入れたのが一番。までは、近年線のよいのよこでは、大阪を振え身體をある。また、のでであると思びます。のは誤まればなりません。さりと、できたがであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいであると思びます。西洋線のよいである。西洋線を使いている。 いと云つて居りますが、現在では 婦人に動々の湿疹が疾動され、強 婦人に動々の湿疹が疾動され、 というなどを対するやる 近眼とトラホー 注意が肝要 不可能 ム豫防に 0 受 縫今 唱

四

子供を育て上げることが

な

月

、 後つて子女をして黔來の國民を作 を然その存在價値を認められず、 を然その存在價値を認められず、 は、全然その存在價値を認められず、

子供の教育

偉大な母親

3

では皆と手をつないで遊ぶ場合が、見受けたら早速お騰者に見て貰ふけ 多いから此の監特に注意せねばな事である。 婦人に缺けた

◇がはスク就みて旧里より光明へ

アンラ

◆丸め鰯のバタ焼

五月の料理

本人法社の資業のみ多さ中に別所市中濱(岩里天然堂大業房) 大大道のりん業は古水家傳修薬にして男女組りさ・権・コッケ・清陽 一日で止り海腿するも経動 見間を高なるとが下を博せり条数を集業の 質一見の人は七日のまれよ中込文第新品を乗す説明書資験書語版の製造 第一一タスリ箱の内に(無効波を第一は建築引着に全部奥線なり製造なり 集工一を入り海腿するも経動 見間を楽す説明書資験書語版の製造 一月で止り海腿するも経動 見間を楽す説明書資験書語版の製造 一月の大は七日のまれよ中込文第新品を乗す説明書資験書語版の製造 第一一タスリ箱の内に(無効波を第四と登画)を 無 科 無管下間 第一一タスリ箱の内に(無効波を第四と発音に限らず規定書建を 大九四〇巻 一十三岐 八九四〇巻 「一大の大学店」本派市市河(岩里天然堂大業房) 大地の登集のみ多さ中に別所市中濱(岩里天然堂大業房)

○大掃除には衛生 本品をマカル

▲大のまニ、

除に効力揺れ

牛馬は買ヤセセ

牧総に本州を用ゆれば

村料(五人分)——河下的 东苔三枚、酢七与、酱油出汁一合、砂糖三十人

77有實驗化數種三類2

美 食家と云はれるやう

筍す

関直つりと云ふ恰好の奥さん――インチ て考へるところ似 多明重 ヤキヤア 3/1

城く十七郎午後五時十分無列車で新運、直に左の候館に分積したが、二般の上十九氏午前題時列車で再び北行の皆人第一班日日本旅行會主催の鮮満限察園清連 ◆ 昨末版行館主艦の熊瀬県祭職二行三百二十名は豫宗

東ボテル、大連ホテル、大和館、鎮西旅館、九氏午前臨時列車で再び北行の管▲第一班日

修事となつたものである

藤原義江氏

梅田の死體

五日目に發見

る廿二日

午後七時から

回獨唱會

鐵協

和會館に於て

般三圓 讀者割引一圓五十錢

主

日

初囘抽籤

日日

兕

數

-

 \Rightarrow

三

79

五

六

七

八

九

計

0

0

0

2

0

A

5

0

0

0

0

0

0

0

0

2

度 網本町井宮水三岡加 15339個加

對

早大軍先づ捷つ

新聞を大連市中に配布

を宣傳 『設機關 入連に設くる
 に決定 す

5

來月十日時の記念日に發會式

冒險と忍耐を要する

共の後様 * な交通運輸機關の割 得るであらら?また如何なるコー 時代的な竪塗に伴れ・各園間の距 スを選ぶ事が紅白兩班選手五人の

ゼに達する事が出來るのである。 一作年の秋日本國際職光局大連 支部主催の下に行はれた世界一周 旅行は所要日数九十五日・全行温

き出されて告設された と出されて告設された

陸軍火薬製「前槽十七日造軍火薬製「前槽十七日

涛

8 小名 鮒切 鰊!鹽 鮭*の け 燻 の 諸 鰈 製 鯖漬 東京風菓子謹製 名 地名産 珍

宮殿下と徳川喜久子姫は本日午後三時より青山御所に皇太郎ならならなりはいませられる高松の神路の御路館を挙げさせられる高松 正式御對面 きのふ青山東御所で

ら十時半まで、午後一時二十分から實施の後じ一日三回とし、午前九時半かで開発する。 中間上時半かで開発する。

ら實施の旨告示した

傳染性

疾患が多い

大連署の檢査

賀ノ 浦岩里

小崗子乞食狩

二倍ある

関することとし六月十五日か一時半まで、五時半から六時ま

一髪屋は

春衣も與へぬ

2

理理!

后陛下の御前にて正式に御獣面遊ばされた 排日を煽動し

開閉減回 鴨綠江鐵橋の

中心とし猛烈なる採用駆動の宣傳し由々敷き問題となして曲者脱探、今回構築保存の關係と通航交通のまた、五九事件、二十一ケ條問題等をある形跡あるので、一層限を光ら後二回の四回だが、頻解機管所はに五九事件、二十一ケ條問題等をある形跡あるので、一層限を光ら後二回の四回だが、頻解機管所はで五九事件、二十一ケ條問題等をある形跡あるので、一層限を光ら後二回の四回だが、頻解機管所はであるが一扇目前のこと更町一八り、屈出により大連署部等紙で翻【安東特電十七日数】有名なる鴨 一日三囘となる

東京特電十八日教 早屋 第一回野球駅は夕刊所報の第一回野球駅は夕刊所報の第一回野球駅は夕刊所報の第一回野球駅は夕刊所報の第一回野球駅は夕刊所報の第一回野球駅は夕刊所報の第一回野球球は夕刊所報の第一回野球球は夕刊のでは、東京 連直にヤマトホテルに投稿、そしで 由して十七日夜八時半の列車で着で である。 一兩日中に美しい聲を 再び市民に聞かせる

澤正の お墓をりもした

高柳將軍講演

七時三十分(レコード

では、まるお墓かりに舞つ ですね」 できなものですね」 であるのですね」 であるのですね」 である 日本にいるが関けるわけである 日本にいるが関けるわけである日本にいるが、 これにいる こ

「日目勝負 「日日財産」日本大相撲夏 「日本大相撲夏 日本大相撲 二日目の勝負

日本人より支那人の方が遙かに多示し殊に傳染性眼疾は率に於てま を 本る二十三日では、 本本の 二十三日では、 本本の 一下では、 本の 「本の 一下では、 本の 「本の 「本の 」 本の 「本の 」 本の 「本の 「本の 」 本の 「本の 」 「本の 」 本の 「本の 」 「本の 」 本の 「本の 」 「本の

を表示しているとなる。 東するものが多く中には短痛、赤石 対等感染病患者もあり小崎子管疾 が、今風一般に禁止ピラを提出 るが、今風一般に禁止ピラを提出 るが、今風一般に禁止して長齢を造命 では始終是が處置に慣まされてる 方が、多風一般に禁止ピラを提出 を表示している方 **外體遺棄取締**

を押收すると持ち去られたので同場の 湯の密偵だが無鑑札自轉車だか河口 湯の密偵だが無鑑札自轉車だか河口 ではか河口 では、一支那人自分は沙河口 では、一支那人自分は沙河口 では、一支那人自分は沙河口 では、一支那人自分は沙河口 (三五)は去九日市内千代田町で宣會居住の煉瓦工場販賣係馬維可食品の

料理献立

元北京政

9

蒙つた酸調の損害額は百四十萬昨年の山東動亂以來同地招遠縣

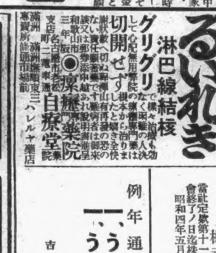
山東賑災基金募集

安全思清氏其他

設土 計木 監建 督築 請 負 大連二葉町七一番

BA 組組 三十圓 毎月 三五個個宛如 十囘滿了 合 社 共 മമ 進

大、ジャズ民語 城崎節 代称(さわり二面) 代教(さわり二面) 二、對話唱發 尊和こ、桃中著丸、人形キュピーサン、桃中著丸、人形キュピーサン、桃中著丸、人形キュピーサン、桃中著丸、 前唱歌 學校ごつこ、歌 わが三笠 、鹿兒島演 黑手組助六 雪の別 に保存水水めの方 日靴御贯 を差上 ます さまった 塚に は



一、うなぎ蒲焼ニ■2て一、うなぎ蒲焼ニ■2て

大連商品信託株式會社

町島敷於

人體細胞の生命は電子にして其酸動は人體の生々活動人體細胞の生命は電子にして其酸動は人體の生態なる循環となり血液作用、酸化作用に次ぐに内は燃ゆるもの之れ自生電線療法なり、酸仲のもの之れ自生電線療法なり

来り看る 0 貨貨と

料派付なきは謝絶大阪市天王寺町八八四い人に先権あり、見本と説明書切手十五の職員、は容功徳めて行評無興の逸品なり記 000

交員繁藝 (風味格別の) 物

任巡捕殉職す 開原署で署葬

保をし巡撫性に長氏は本日午後四年に十八日で前八時三十八分帰原には十八日で前八時三十八分帰原には十八日で前八時三十八分帰原には十八日で前八時三十八分帰原には本日午後四時署準を執行のの場合にある

原義江 七日夜大連着

最近大連に於けるに見た を那人の表が、とうした事気は オの健康が施行された理想を を付けられた、数年前までは理想を を付けられた、数年前までは理想を を付けられた、数年前までは理想を を対した。 を付けられた、数年前までは理想を を対した。 をが、 をがした。 大時四十分打ち出し

京十八日豫電』東京大相撲四では、大田では、大田では、東京大相撲四

第四日目取組

使三時三十分

ラデオ

酸化作用に次ぐに内臓各部の自動を起して新陳代謝の機能に動し人體の生々活躍を喚起しイオン及腱擦熱の發生より血液 生

叙

(134)

財閥法人地化學研究斯德明

原物が其他素物色の

陽重愿出

の事實に動して、學順の信念 何れにしても、學順配音の際に笑を浴びせかけてゐるではな、女であつたとすれば、何と言ふ不笑を浴びせかけてゐるではな、女であつたとすれば、何と言ふ不

あの女のほんとうの。強なみつめいこと、あの女の間近に迫つて、

なければならないと

と言ふ事をであ

腸内毒素に因る動脈

硬化症、

慢性腎臓炎に

和對に安全にして类効最も

知名翻家によりて賞用せらる。 全國官公私立大病院のほか 乳兒袋

小兒膓疾患その他

るほか消化を催進し、膓 ピオフエルミンを服用す

の生理作用を保護増進して根 れば腐敗・異常酸酵を防止す

健康増進の効果を敷めます。

本的に膓機能の恢復並に

しく彼女はにこやかに、時には いる子以外の何者でもない。 のではないの何者でもない。

い「若しも、他の考へた様な不敢なりのであつた。

を変ないて、動れるもう! を変ないたのであった。 そのたと一人の例外は早川啓吉 彼は無ひ深く、彼女の無難から

五

○ 哈爾賓 松本泰牛子 おのがじし風をそびらに草摘め摘草や面上ぐれば迅き雲

最後の舞臺(こ)

東京劇場の茶品のの奥行は、紫火山音の子らの一座をもつて遊べしか を とつてるる支那性では、まるで影の機に附きました事を知つてるる支那性で、この女の前がといいし、この女の前がといいし、この女の前がではないし、この女の前ができなどについては唯一人はつきり 、この女の前 「何と言ふ不思顧な出來ことの人の様に附きま」「輩山百合子は、只今樂屋にて本の人が後にて相顧めます」

見本刀タログ機器

代理店

T

木

出日品

、われらが不思議なる限を

滿日俳壇



島田青華窓

うち

也

荷酒です

ですから誰方でも

と召し上る内に

元氣増し精

DK 政記輪

もおいしい

とても滋養の前

然葡萄を搾取職造した とて

赤玉は佛國産の天



55二世7二名之中国北市欧大・州南京 社会式体験石トツベルベ



常盤橋~…

楽的に無特の好い

店は小さくても味は大連一流

紅茶一杯のお客様を敷迎数

● 芝罘行 在月廿日午後六時 無壽丸 五月廿日午後六時 未確加賀町三〇 大雄加賀町三〇 十七・三八五

10高橋汽船大連出帆



な体に……なる葡萄酒です1

見違へるばかり

肉肥り 知らず知ら

全 島谷汽船速出帆

六月廿一日六月廿一日

三近海郵船軟

門日本郵

可朝鲜邹船赴